

滋賀県 景況調査結果報告書

令和5年度 第2四半期
(令和5年7～9月期)

目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和5年7～9月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	389	40	5	2	436
(割合)	89.2%	9.2%	1.1%	0.5%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和5年8月28日～9月15日

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

回答企業数:436社(回答率58.1%)

※大企業36社、中小企業400社(うち小規模事業者144社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	13	2	0	6	15	36
中小企業・ 小規模事業者	135	78	29	48	110	400
合計	148	80	29	54	125	436
(業種別比率)	33.9%	18.3%	6.7%	12.4%	28.7%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	12	11	6	7	22	58
南部地域	40	14	5	10	24	93
甲賀地域	25	9	4	6	17	61
東近江地域	21	12	6	12	16	67
湖東地域	17	12	5	8	17	59
湖北地域	19	10	2	7	16	54
高島地域	14	12	1	4	13	44
合計	148	80	29	54	125	436

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲1.6と、前期と比べて0.1ポイント改善した。
来期は▲2.8と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では+22.2とプラス幅が縮小し、中小企業(小規模事業者を含む)では▲3.8とマイナス幅が縮小した。
来期は、大企業が+11.4とプラス幅が縮小し、中小企業は▲4.0とマイナス幅が拡大する見通しである。
- **【業種別】** 前期と比べて、製造業・建設業・小売業で改善し、卸売業・サービス業で悪化した。
来期は、製造業・卸売業はマイナス幅が縮小する一方、建設業・小売業はマイナス幅が拡大、サービス業はプラス幅が縮小するなど、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和5年7~9月期、来期:令和5年10~12月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

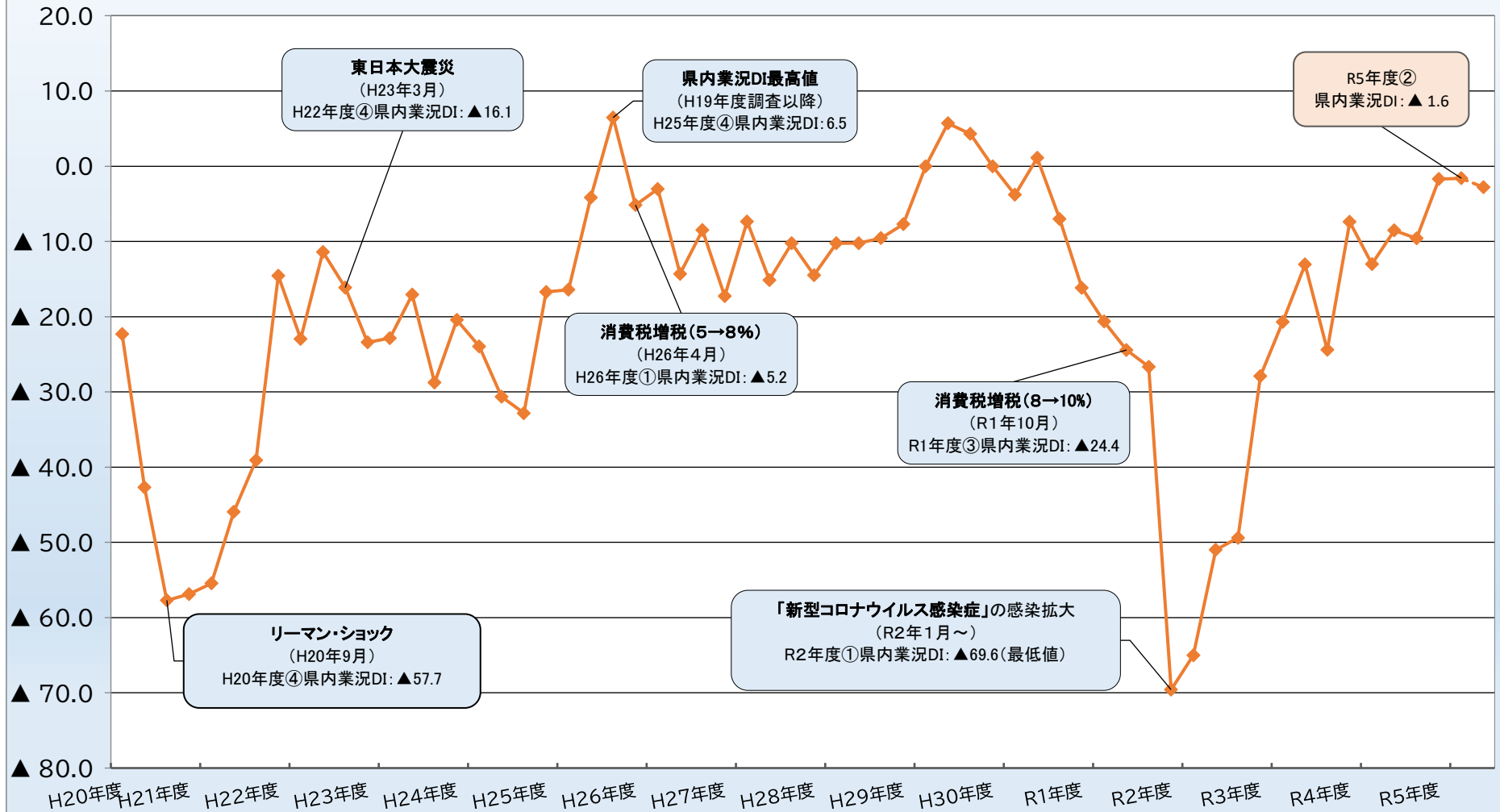
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業況DIの推移

(平成20年度 第1四半期～令和5年度 第2四半期)



1. 調査概要

2. 全体

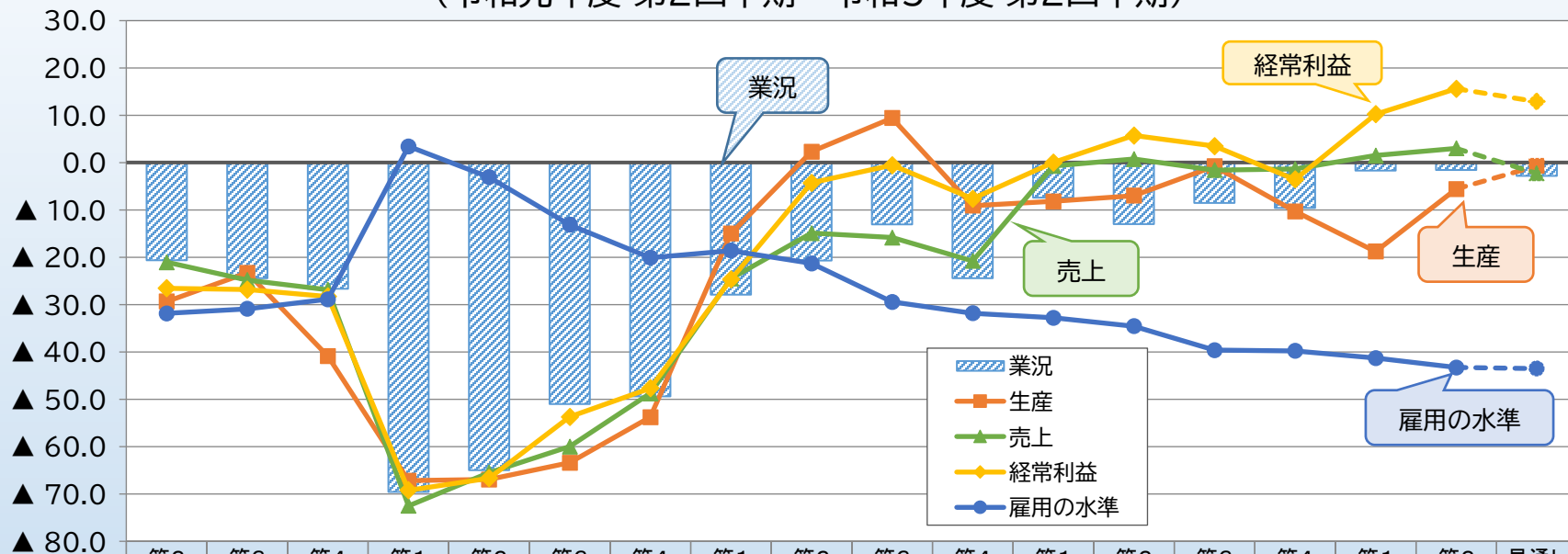
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

各種DIの推移

(令和元年度第2四半期～令和5年度第2四半期)



	R1 (2019)年度			R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度		
業況	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 2.8
生産	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 0.7
売上	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	1.5	3.0	▲ 2.3
経常利益	▲ 26.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	▲ 3.6	10.2	15.6	12.9
雇用の水準	▲ 31.9	▲ 30.9	▲ 28.9	3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 43.3	▲ 43.5

【今期(令和5年7～9月期)の景況】※前年同時期との比較

業況DI、生産DIはマイナス幅が縮小、売上DI、経常利益DIはプラス幅が拡大した。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和5年10～12月期)の見通し】

業況DIはマイナス幅が拡大、生産DIはマイナス幅が縮小、売上DIはマイナスに転じ、経常利益DIはプラス幅が縮小する見通し。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

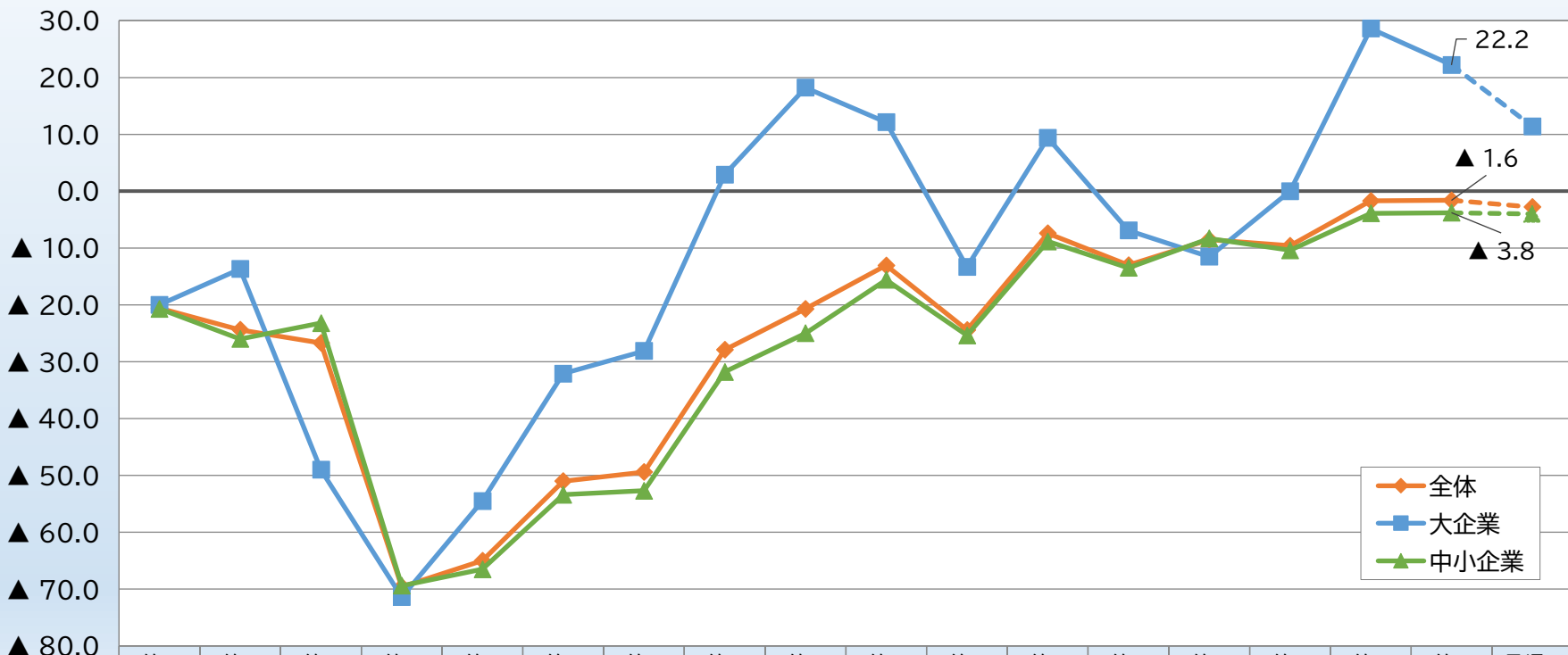
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業規模別】業況DIの推移 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)



【大企業】

今期: +22.2とプラス幅が縮小した。

来期: +11.4とプラス幅が縮小する見通し。

【中小企業】

今期: ▲3.8とマイナス幅が縮小した。

来期: ▲4.0とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

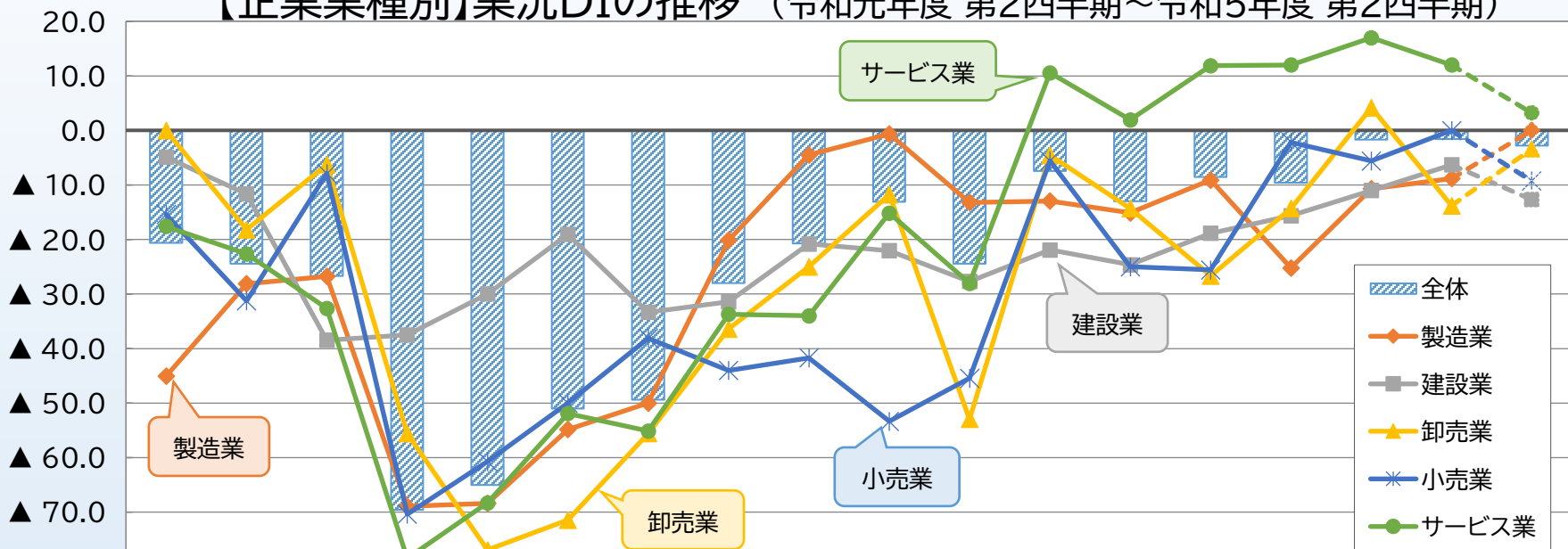
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

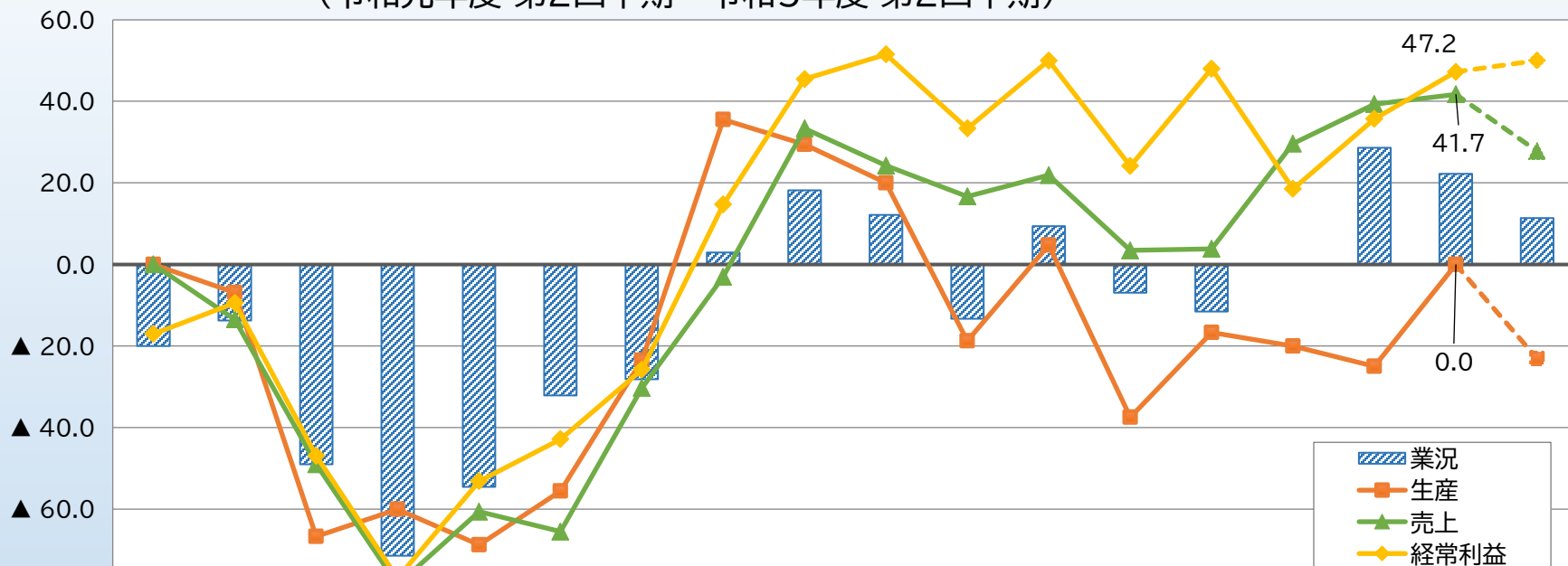
【企業業種別】業況DIの推移 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)



	R1(2019)年度			R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度				R5(2023)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
全体	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 2.8
製造業	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	0.0
建設業	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 12.7
卸売業	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.4
小売業	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 9.3
サービス業	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.2

【製造業】	今期: ▲8.8とマイナス幅が縮小した。	来期: 0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期: ▲6.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲12.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲13.8とマイナスに転じた。	来期: ▲3.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【小売業】	今期: 0.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲9.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【サービス業】	今期: +12.0とプラス幅が縮小した。	来期: +3.2とプラス幅が縮小する見通し。

【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

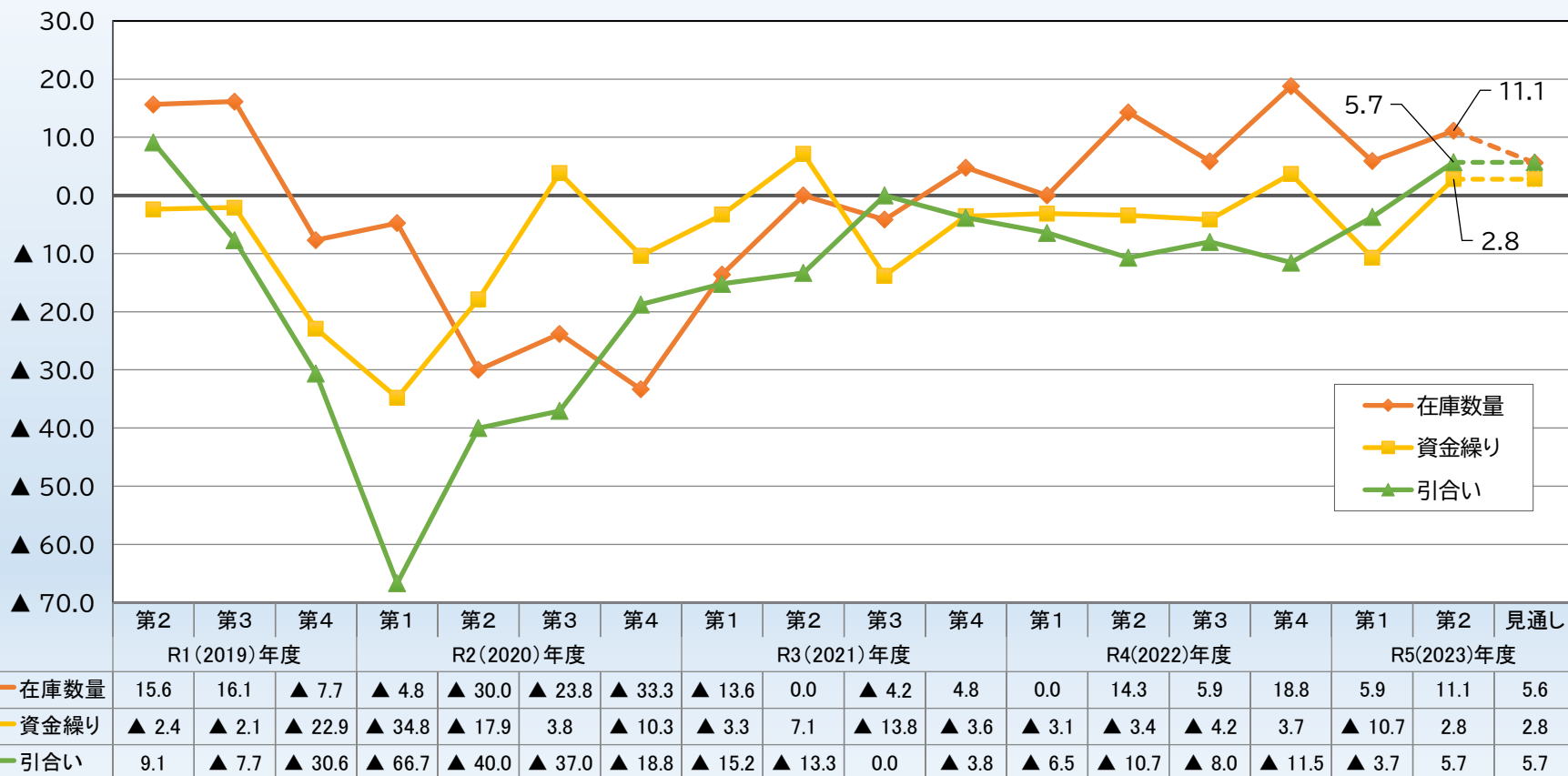


	R1(2019)年度			R2(2020)年度			R3(2021)年度			R4(2022)年度			R5(2023)年度					
業況	▲ 20.0	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	11.4	
生産	0.0	▲ 6.9	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 68.8	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	▲ 23.1
売上	0.0	▲ 13.5	▲ 49.0	▲ 78.6	▲ 60.6	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	3.8	29.6	39.3	41.7	27.8
経常利益	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 46.9	▲ 76.9	▲ 53.1	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	48.0	18.5	35.7	47.2	50.0

【業況】	今期: +22.2とプラス幅が縮小した。	来期: +11.4とプラス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: 0.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲23.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +41.7とプラス幅が拡大した。	来期: +27.8とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +47.2とプラス幅が拡大した。	来期: +50.0とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

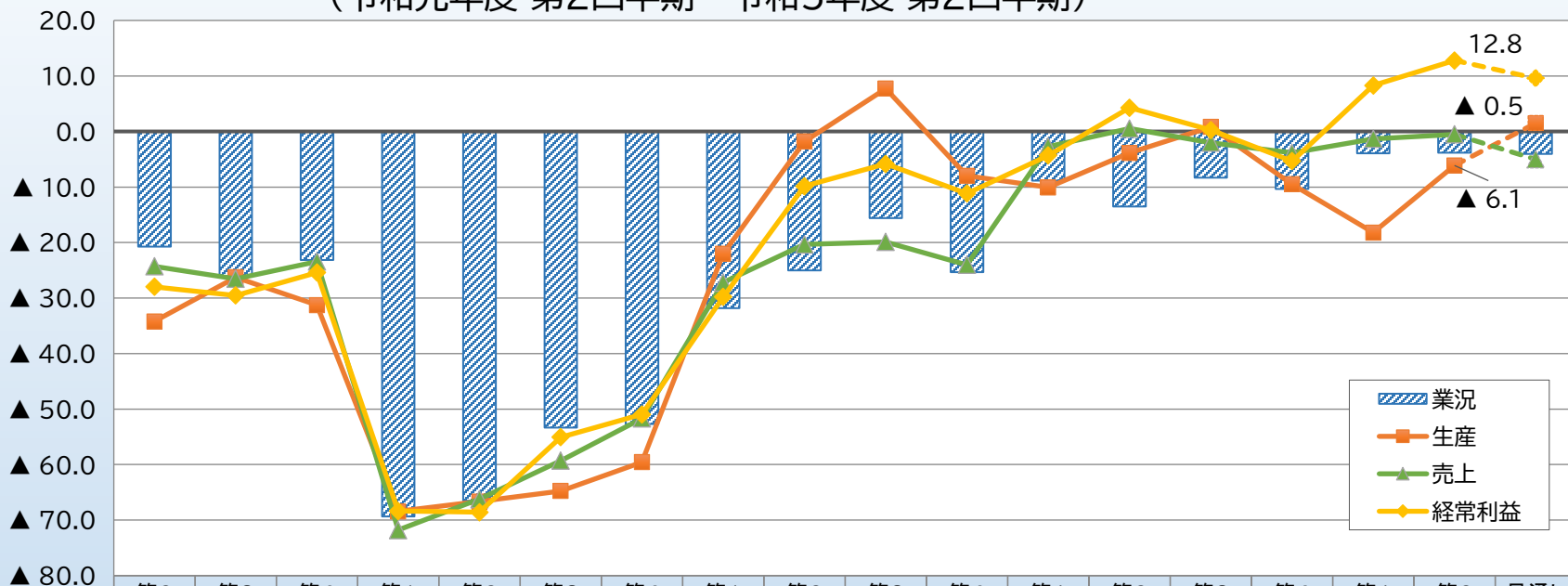
【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期: +11.1とプラス幅が拡大した。	来期: +5.6とプラス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: +2.8とプラスに転じた。	来期: +2.8と同水準の見通し。
【引合い】	今期: +5.7とプラスに転じた。	来期: +5.7と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

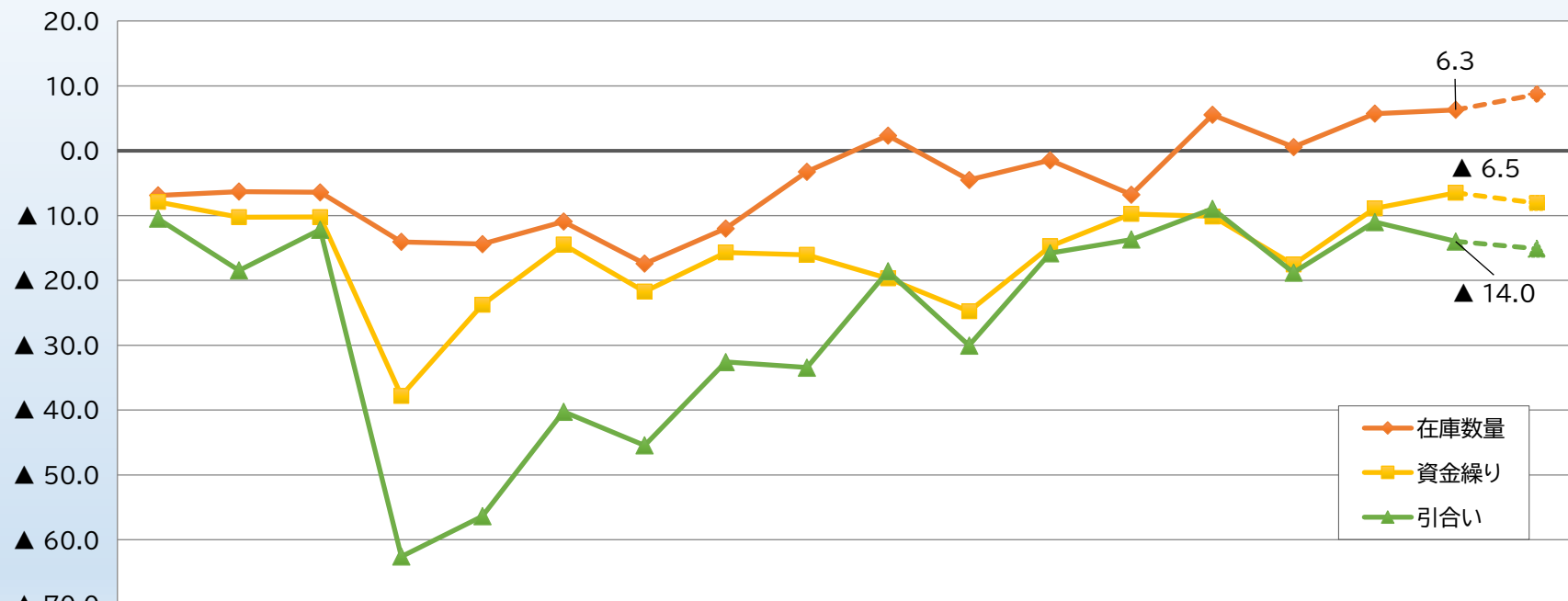


	R1(2019)年度			R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度				R5(2023)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	▲ 20.7	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 15.6	▲ 25.4	▲ 8.8	▲ 13.5	▲ 8.3	▲ 10.4	▲ 3.9	▲ 3.8	▲ 4.0
生産	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 31.3	▲ 68.4	▲ 66.7	▲ 64.8	▲ 59.6	▲ 22.0	▲ 1.8	7.8	▲ 8.0	▲ 10.1	▲ 3.8	0.8	▲ 9.5	▲ 18.2	▲ 6.1	1.5
売上	▲ 24.3	▲ 26.5	▲ 23.4	▲ 71.8	▲ 66.2	▲ 59.3	▲ 51.7	▲ 27.2	▲ 20.3	▲ 19.9	▲ 24.0	▲ 2.7	0.5	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 1.3	▲ 0.5	▲ 5.0
経常利益	▲ 28.0	▲ 29.5	▲ 25.4	▲ 68.4	▲ 68.6	▲ 55.1	▲ 51.0	▲ 29.8	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 11.1	▲ 4.3	4.3	0.3	▲ 5.3	8.3	12.8	9.6

【業況】	今期: ▲3.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲4.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲6.1とマイナス幅が縮小した。	来期: +1.5とプラスに転じる見通し。
【売上】	今期: ▲0.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲5.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +12.8とプラス幅が拡大した。	来期: +9.6とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

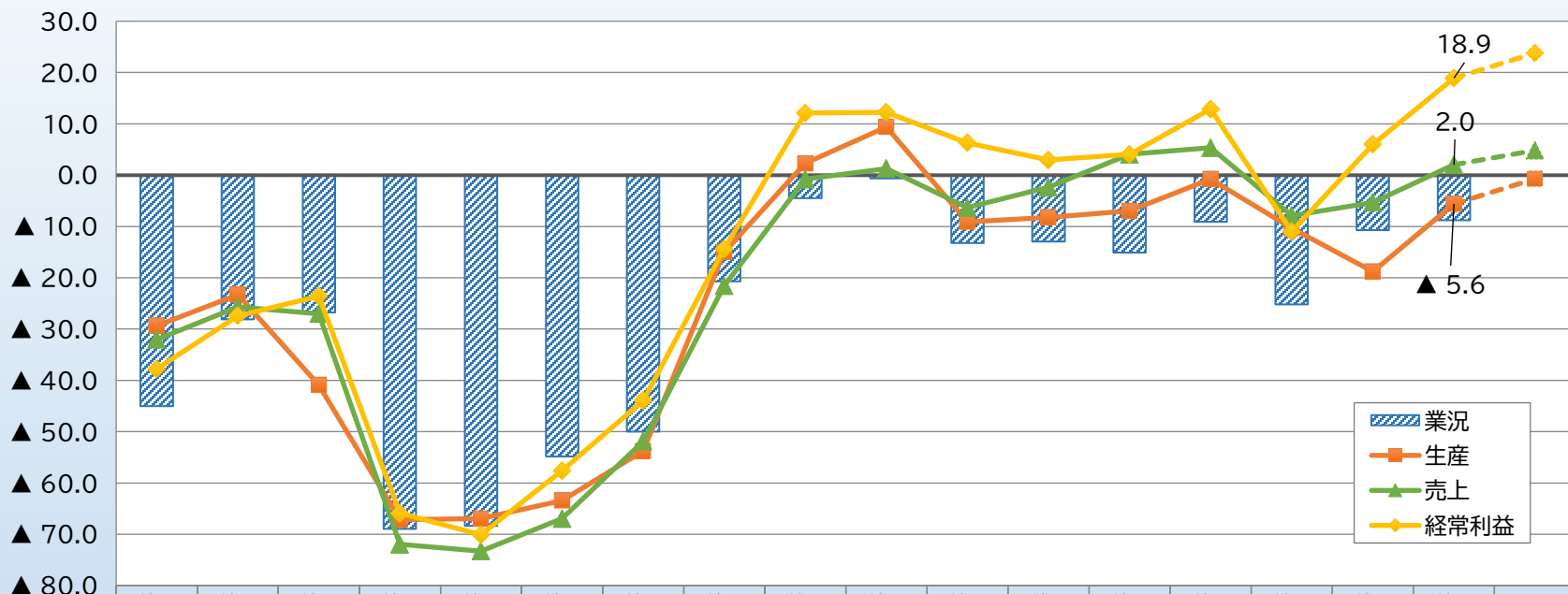


	R1 (2019)年度				R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
在庫数量	▲ 6.9	▲ 6.3	▲ 6.4	▲ 14.1	▲ 14.4	▲ 10.9	▲ 17.4	▲ 12.0	▲ 3.2	2.3	▲ 4.5	▲ 1.5	▲ 6.8	5.5	0.6	5.7	6.3	8.7	
資金繰り	▲ 7.9	▲ 10.3	▲ 10.2	▲ 37.8	▲ 23.8	▲ 14.5	▲ 21.7	▲ 15.7	▲ 16.1	▲ 19.7	▲ 24.8	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 17.6	▲ 8.9	▲ 6.5	▲ 8.1	
引合い	▲ 10.5	▲ 18.5	▲ 12.2	▲ 62.6	▲ 56.4	▲ 40.3	▲ 45.5	▲ 32.6	▲ 33.5	▲ 18.6	▲ 30.1	▲ 15.8	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 18.8	▲ 11.0	▲ 14.0	▲ 15.1	

【在庫数量】	今期: +6.3とプラス幅が拡大した。	来期: +8.7とプラス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲6.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲8.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲14.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲15.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

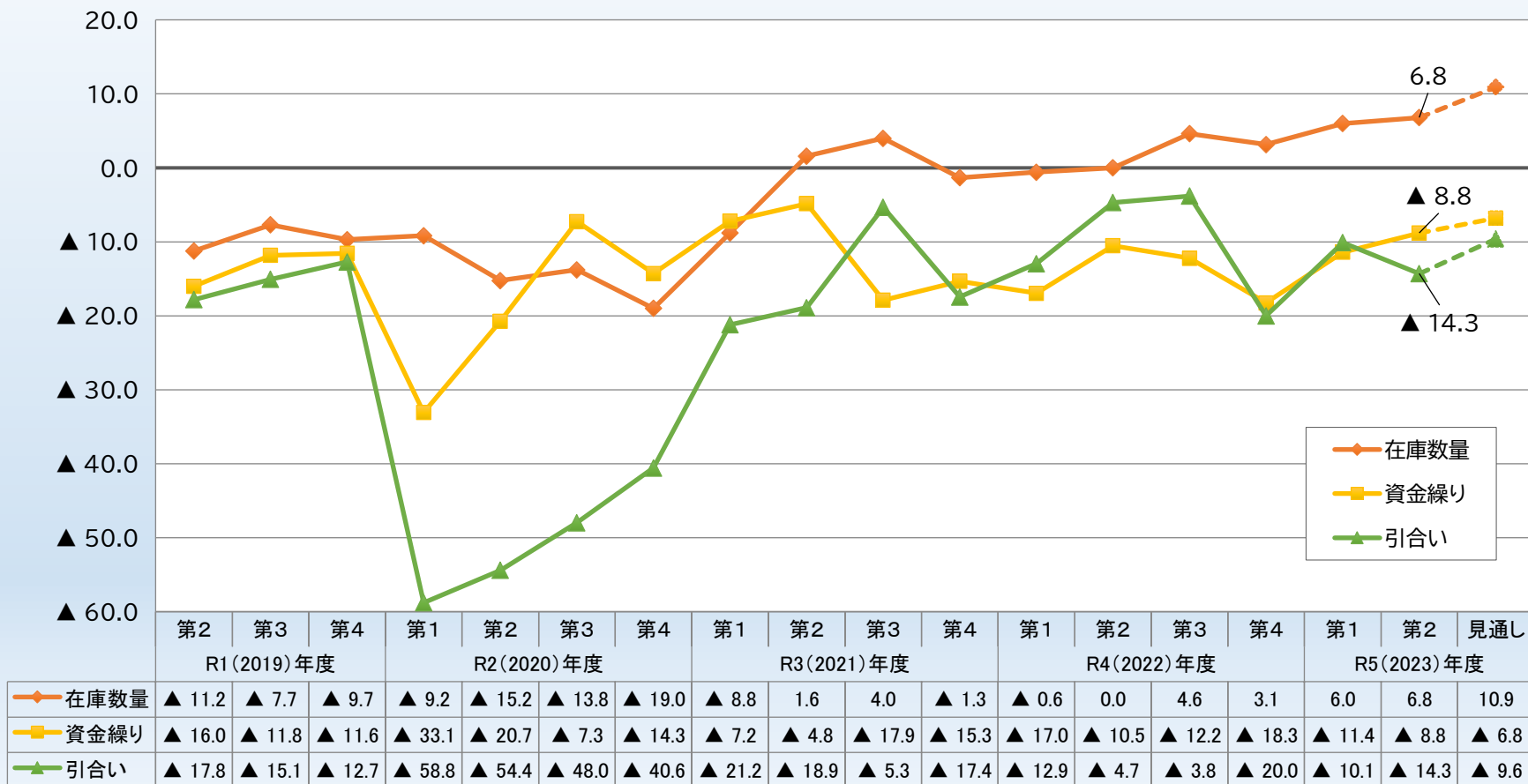


	R1 (2019) 年度			R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	0.0
生産	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 0.7
売上	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 5.3	2.0	4.8
経常利益	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	6.0	18.9	23.8

【業況】	今期: ▲8.8とマイナス幅が縮小した。	来期: 0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲5.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲0.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +2.0とプラスに転じた。	来期: +4.8とプラス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +18.9とプラス幅が拡大する見通し。	来期: +23.8とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

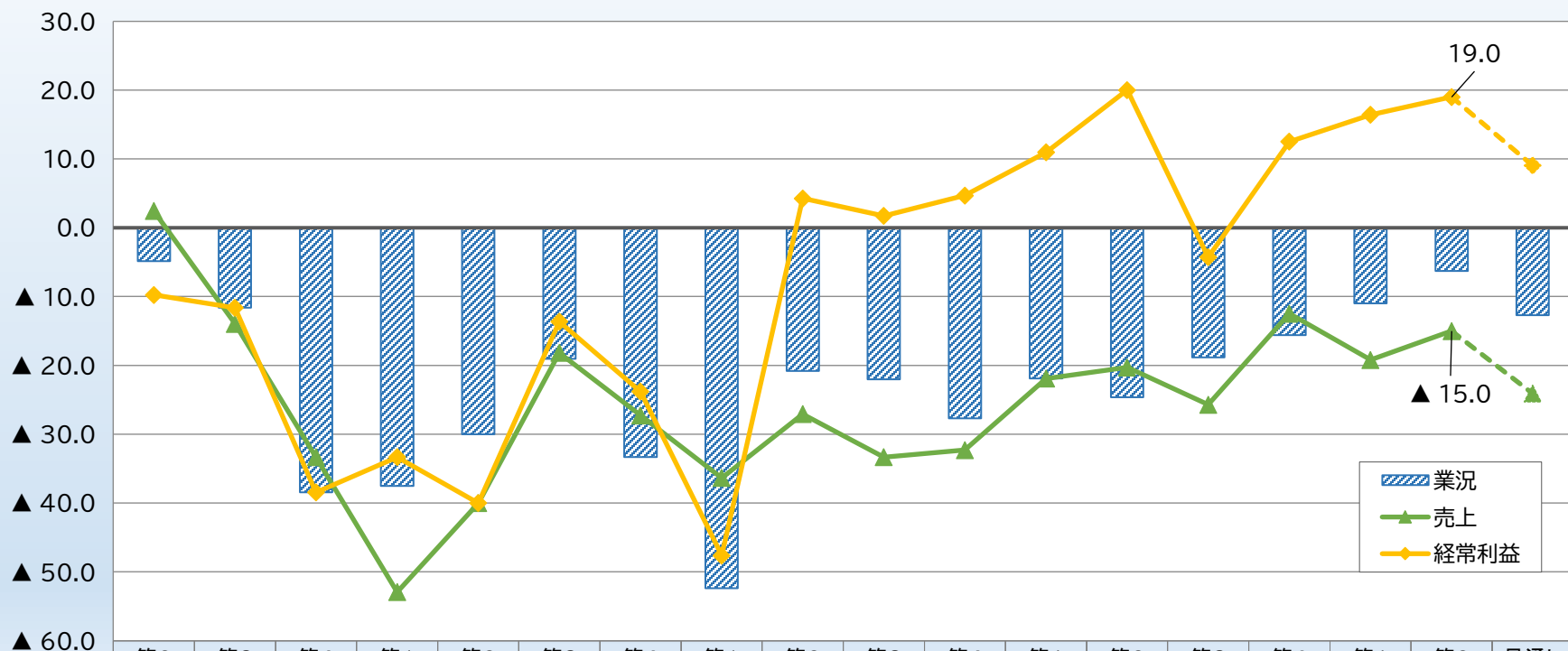
【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期: +6.8とプラス幅が拡大した。	来期: +10.9とプラス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲8.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲6.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲14.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲9.6とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

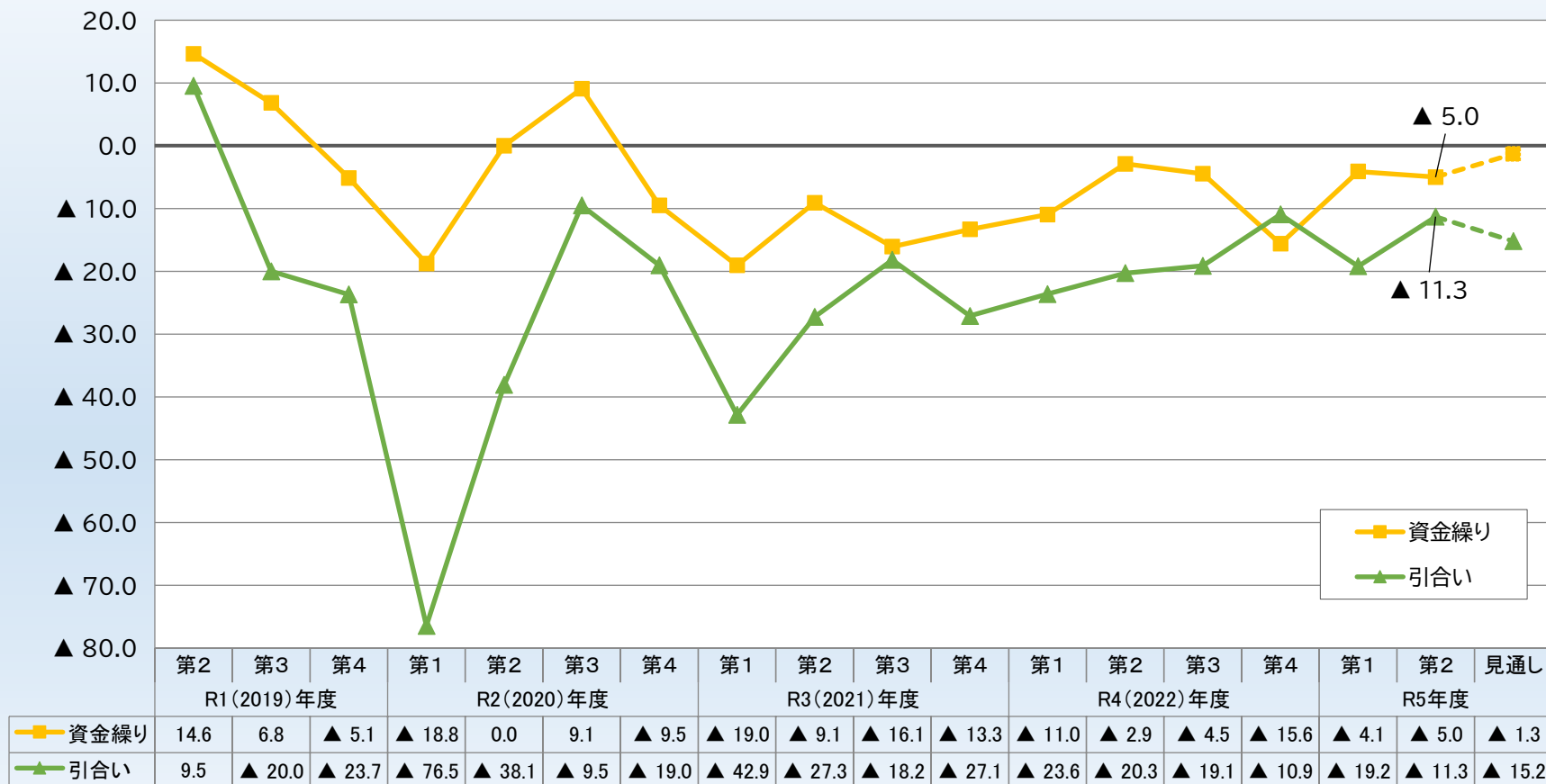


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
	R1 (2019)年度				R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度		
業況	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 12.7	
売上	2.4	▲ 14.0	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 12.5	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 24.1	
経常利益	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	▲ 4.3	12.5	16.4	19.0	9.0	

【業況】	今期: ▲6.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲12.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲15.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲24.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +19.0とプラス幅が拡大した。	来期: +9.0とプラス幅が縮小する見通し。

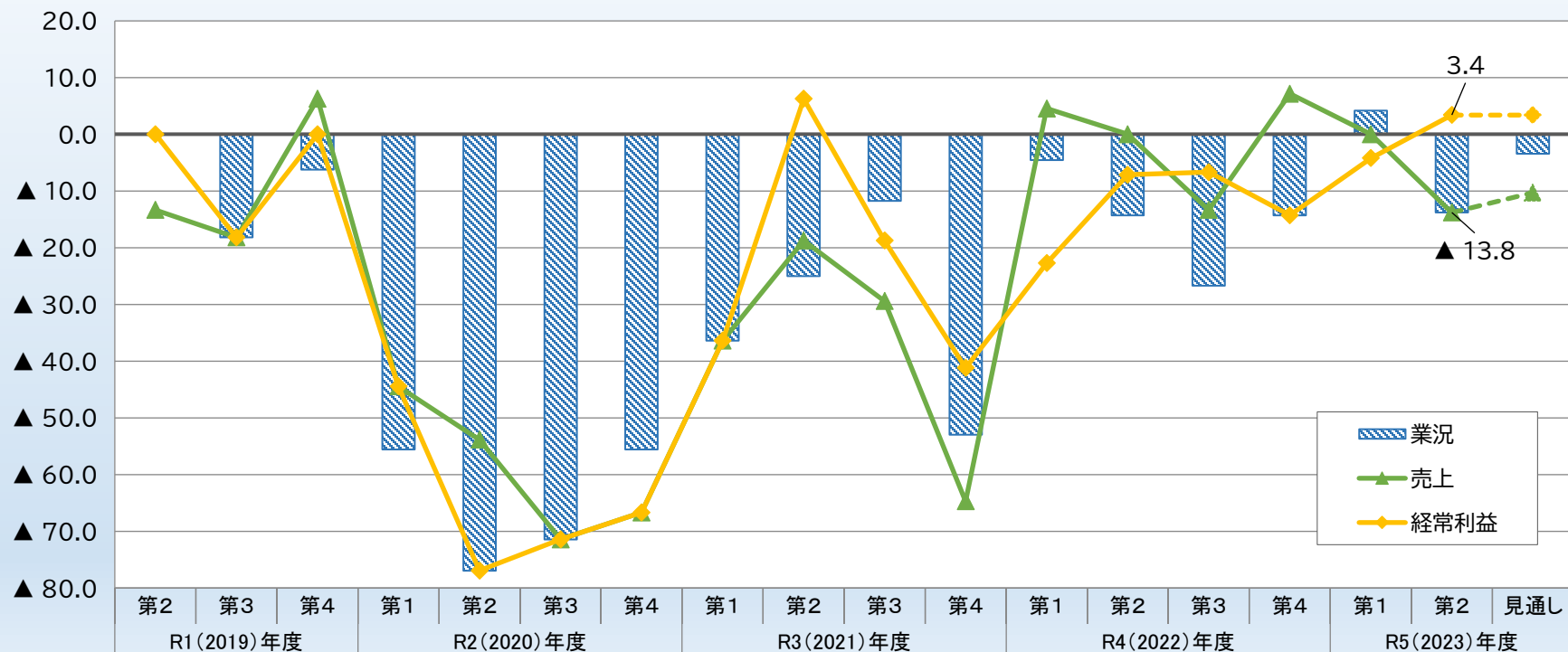
1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)



【資金繰り】	今期: ▲5.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲1.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲11.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲15.2とマイナス幅が拡大する見通し。

【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

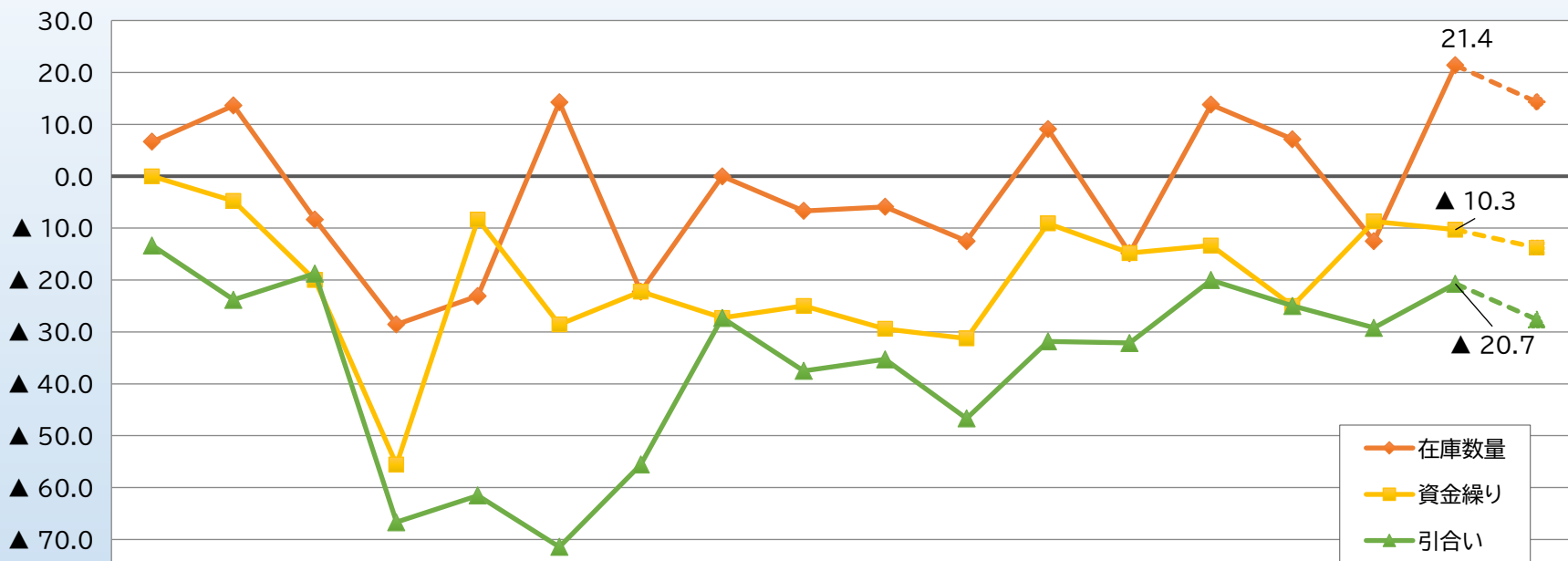


	R1 (2019) 年度			R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.4
売上	▲ 13.3	▲ 18.2	6.3	▲ 44.4	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 64.7	4.5	0.0	▲ 13.3	7.1	0.0	▲ 13.8	▲ 10.3
経常利益	0.0	▲ 18.2	0.0	▲ 44.4	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 4.2	3.4	3.4

【業況】	今期: ▲13.8とマイナスに転じた。	来期: ▲3.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲13.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +3.4とプラスに転じた。	来期: +3.4と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度第2四半期～令和5年度第2四半期)

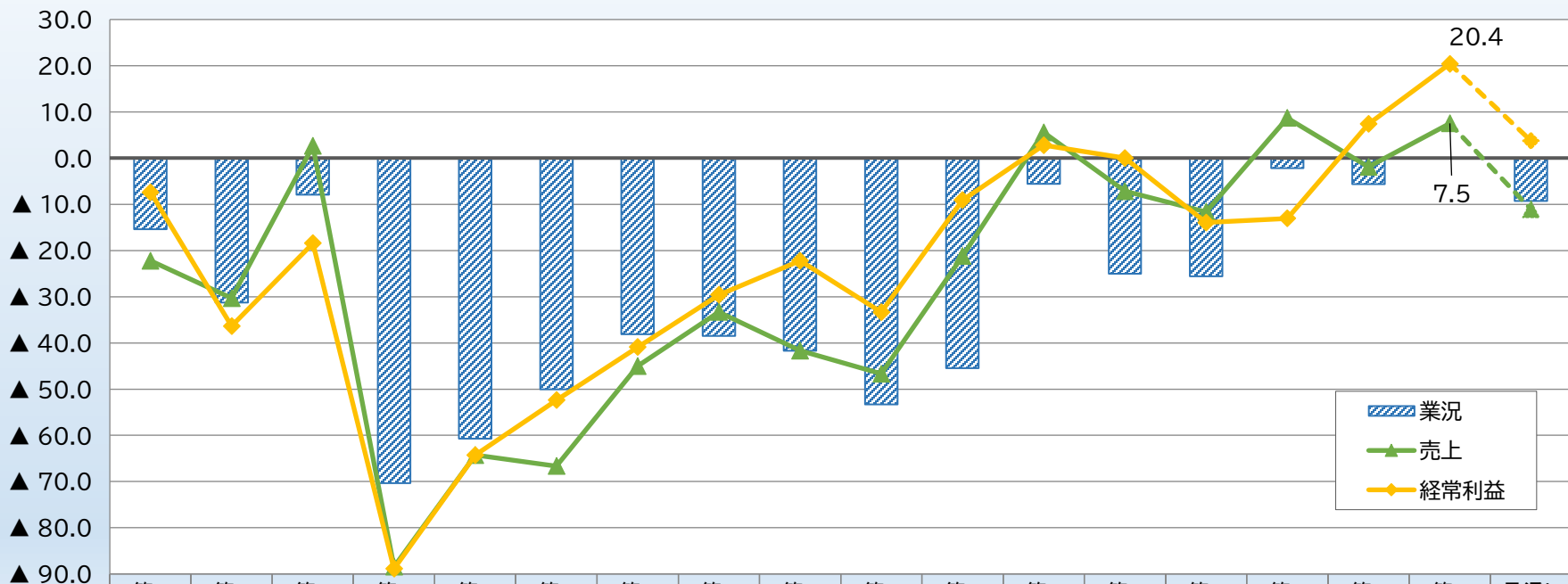


	R1 (2019) 年度			R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
在庫数量	6.7	13.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 23.1	14.3	▲ 22.2	0.0	▲ 6.7	▲ 5.9	▲ 12.5	9.1	▲ 14.8	13.8	7.1	▲ 12.5	21.4	14.3
資金繰り	0.0	▲ 4.8	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 31.3	▲ 9.1	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 10.3	▲ 13.8
引合い	▲ 13.3	▲ 23.8	▲ 18.8	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 27.3	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 46.7	▲ 31.8	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.7	▲ 27.6

【在庫数量】	今期: +21.4とプラスに転じた。	来期: +14.3とプラス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲10.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲13.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲20.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲27.6とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

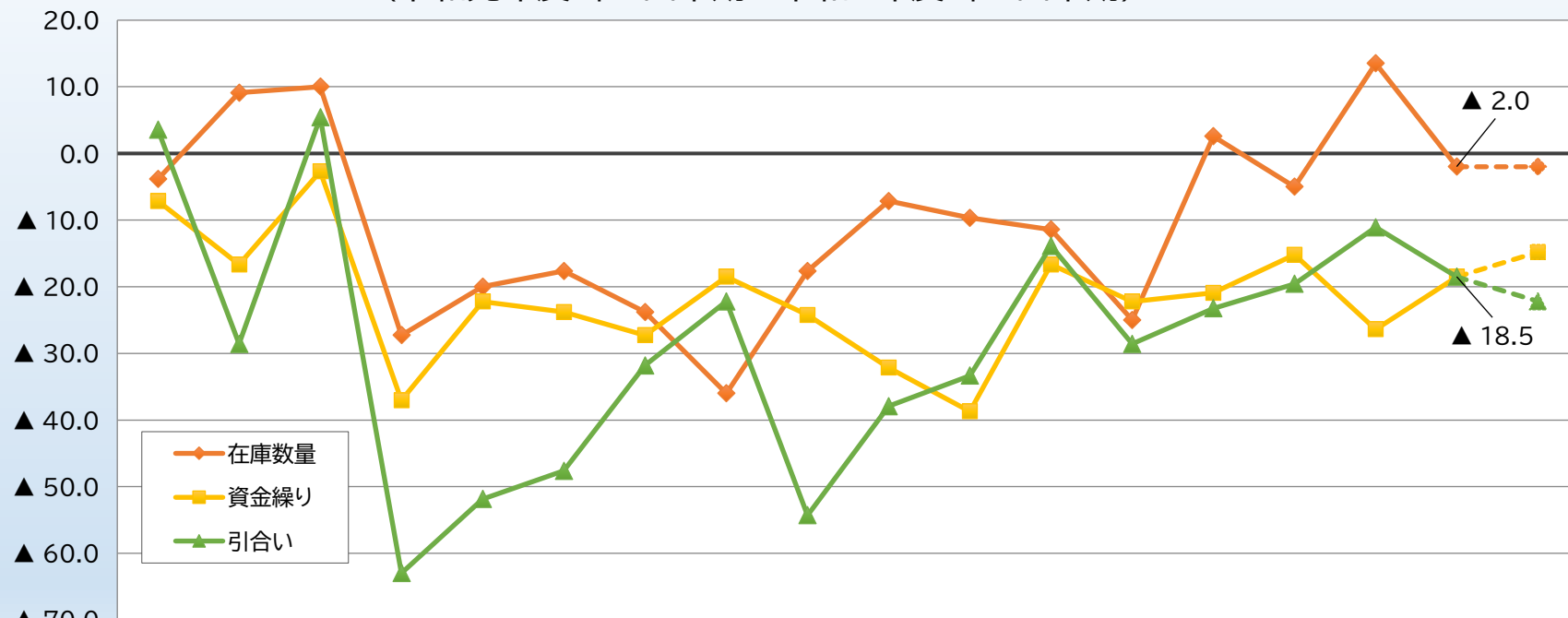


	R1 (2019)年度				R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
業況	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 9.3	
売上	▲ 22.2	▲ 30.3	2.6	▲ 88.5	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 21.2	5.6	▲ 7.1	▲ 11.6	8.7	▲ 1.9	7.5	▲ 11.1	
経常利益	▲ 7.4	▲ 36.4	▲ 18.4	▲ 88.9	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 9.1	2.8	0.0	▲ 14.0	▲ 13.0	7.4	20.4	3.7	

【業況】	今期: 0.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲9.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +7.5とプラスに転じた。	来期: ▲11.1とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期: +20.4とプラス幅が拡大した。	来期: +3.7とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度第2四半期～令和5年度第2四半期)

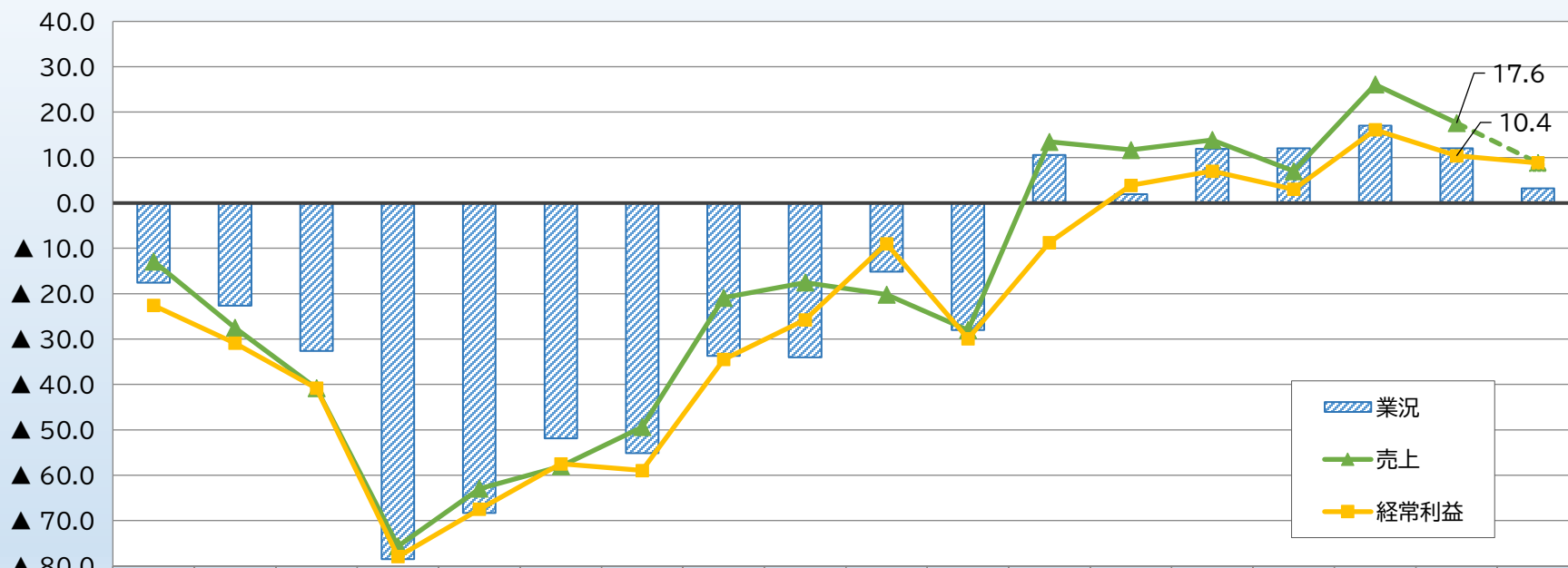


	R1(2019)年度			R2(2020)年度			R3(2021)年度			R4(2022)年度			R5(2023)年度					
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
在庫数量	▲3.8	9.1	10.0	▲27.3	▲20.0	▲17.6	▲23.8	▲36.0	▲17.6	▲7.1	▲9.7	▲11.4	▲25.0	2.6	▲5.0	13.5	▲2.0	▲2.0
資金繰り	▲7.1	▲16.7	▲2.7	▲37.0	▲22.2	▲23.8	▲27.3	▲18.5	▲24.2	▲32.1	▲38.7	▲16.7	▲22.2	▲20.9	▲15.2	▲26.4	▲18.5	▲14.8
引合い	3.6	▲28.6	5.4	▲63.0	▲51.9	▲47.6	▲31.8	▲22.2	▲54.3	▲37.9	▲33.3	▲13.9	▲28.6	▲23.3	▲19.6	▲11.1	▲18.5	▲22.2

【在庫数量】	今期: ▲2.0とマイナスに転じた。	来期: ▲2.0と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲18.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲18.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲22.2とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和元年度 第2四半期～令和5年度 第2四半期)

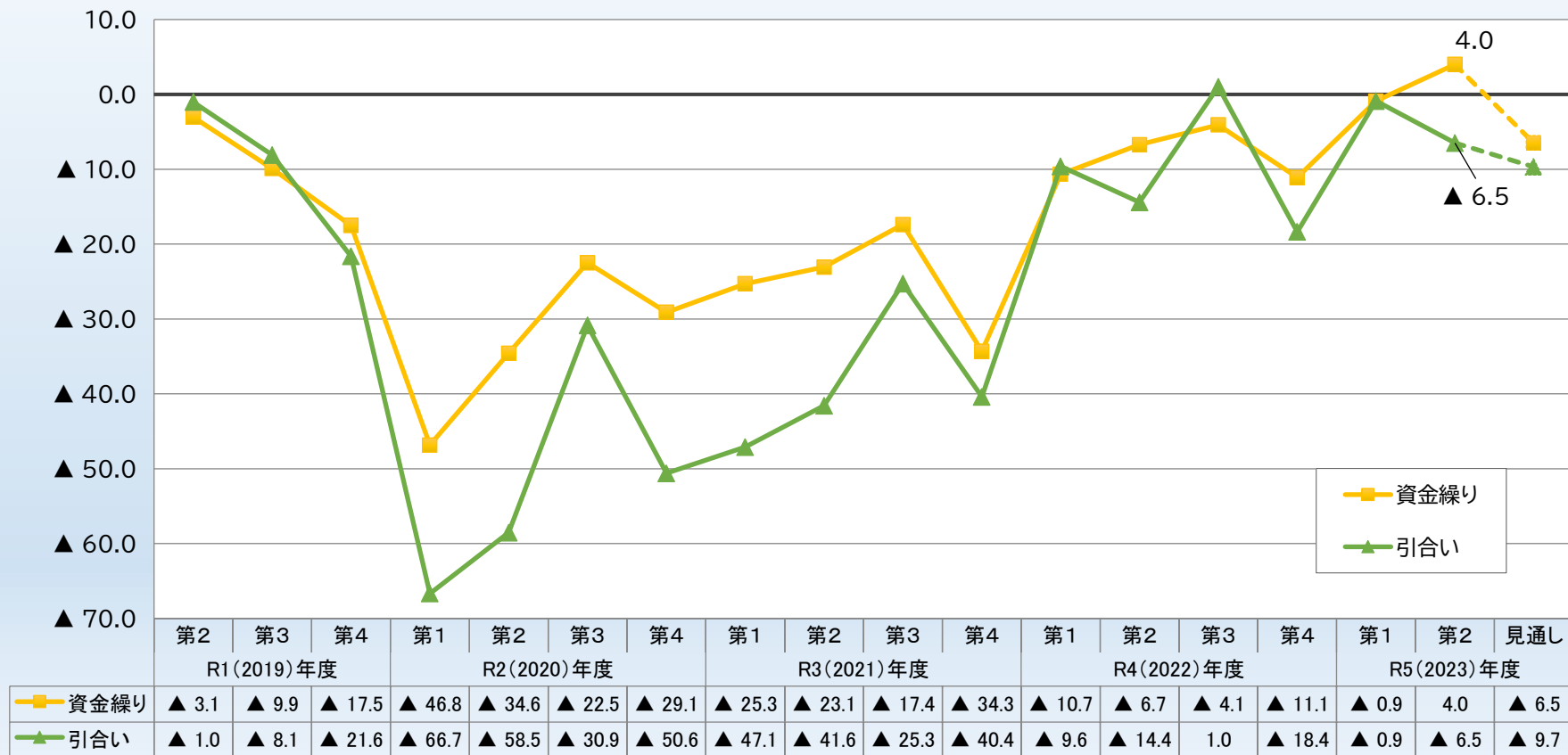


	R1 (2019)年度				R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度				R5 (2023)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
業況	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.2	
売上	▲ 12.9	▲ 27.5	▲ 40.8	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	13.9	7.0	26.1	17.6	8.8	
経常利益	▲ 22.6	▲ 30.9	▲ 40.8	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	7.0	3.0	16.1	10.4	8.8	

【業況】	今期: +12.0とプラス幅が縮小した。	来期: +3.2とプラス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +17.6とプラス幅が縮小した。	来期: +8.8とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +10.4とプラス幅が縮小した。	来期: +8.8とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和元年度第2四半期～令和5年度第2四半期)



【資金繰り】	今期: +4.0とプラスに転じた。	来期: ▲6.5とマイナスに転じる見通し。
【引合い】	今期: ▲6.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲9.7とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書(令和5年度第2四半期)

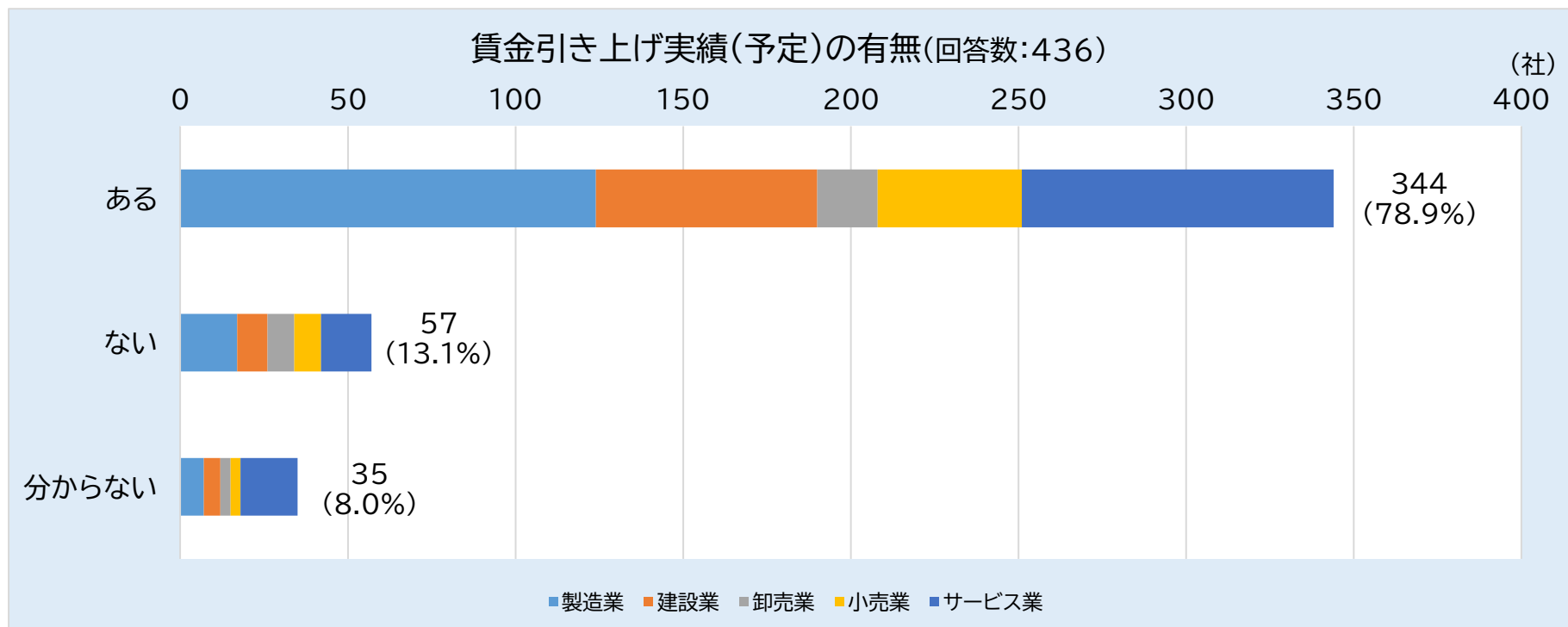


1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	昨年末より、黒字化を継続している。	製造業
	コロナ感染症が5類に移行されたことにより顧客が増加し、売上も増加している。今後、インバウンドの増加も見込まれ引き続き売上げが期待できる。	サービス業
	全国旅行支援は終了しましたが、旅行需要は旺盛で引き続き好調。	サービス業
	コロナが5類になり、売上高は上昇基調にあるが仕入れ商品や光熱費の上昇により営業利益が圧迫されている。様子を見て商品価格への転嫁時期を考えないといけない。	小売業
	7~9月の売上は好調だったが、10月以降は、中国の景気悪化の影響、海外への転注による減少、不採算部品の受注辞退による減少により、悪化の見通し。	製造業
不変	電気代や諸資材の高騰で経費増ではあるが、効率化推進等により何とか収支はほぼ前年並みを維持。今秋、さらなる出荷効率化の為にシステム投資を実施する。	サービス業
	燃料及び電気代の高騰により、材料費や機材費の高騰が影響している。人員不足の中で、労働時間削減すると通常業務が成り立たなくなる点も課題である。	建設業
	円安の影響が大きく、利益面に影響を及ぼしている	卸売業
	仕事がないわけではないが、従業員不足により受けることが出来ない。	サービス業
	原油の高騰により、仕入単価が上がり傾向の為、利益が圧迫している。	小売業
悪化	原価高騰並びに、一般消費の可処分所得の減少による購買力の低下に起因した生産・売上減が発生している。	製造業
	物価高上昇により購買点数が低下。また人件費の上昇により事業経費が増加。下期以降も同傾向が続く見通し。	小売業
	新型コロナの影響は減少したが、新規受注に苦戦しています。	サービス業
	建設資材の値上がりは価格転嫁が困難で利益の圧迫が見込まれる。	建設業

賃金引き上げ実績(予定)の有無

- 今年度(令和5年4月～令和6年3月の間)、賃金引き上げの実績・予定があるか尋ねたところ、「ある」がおよそ8割であった。



1. 調査概要

2. 全体

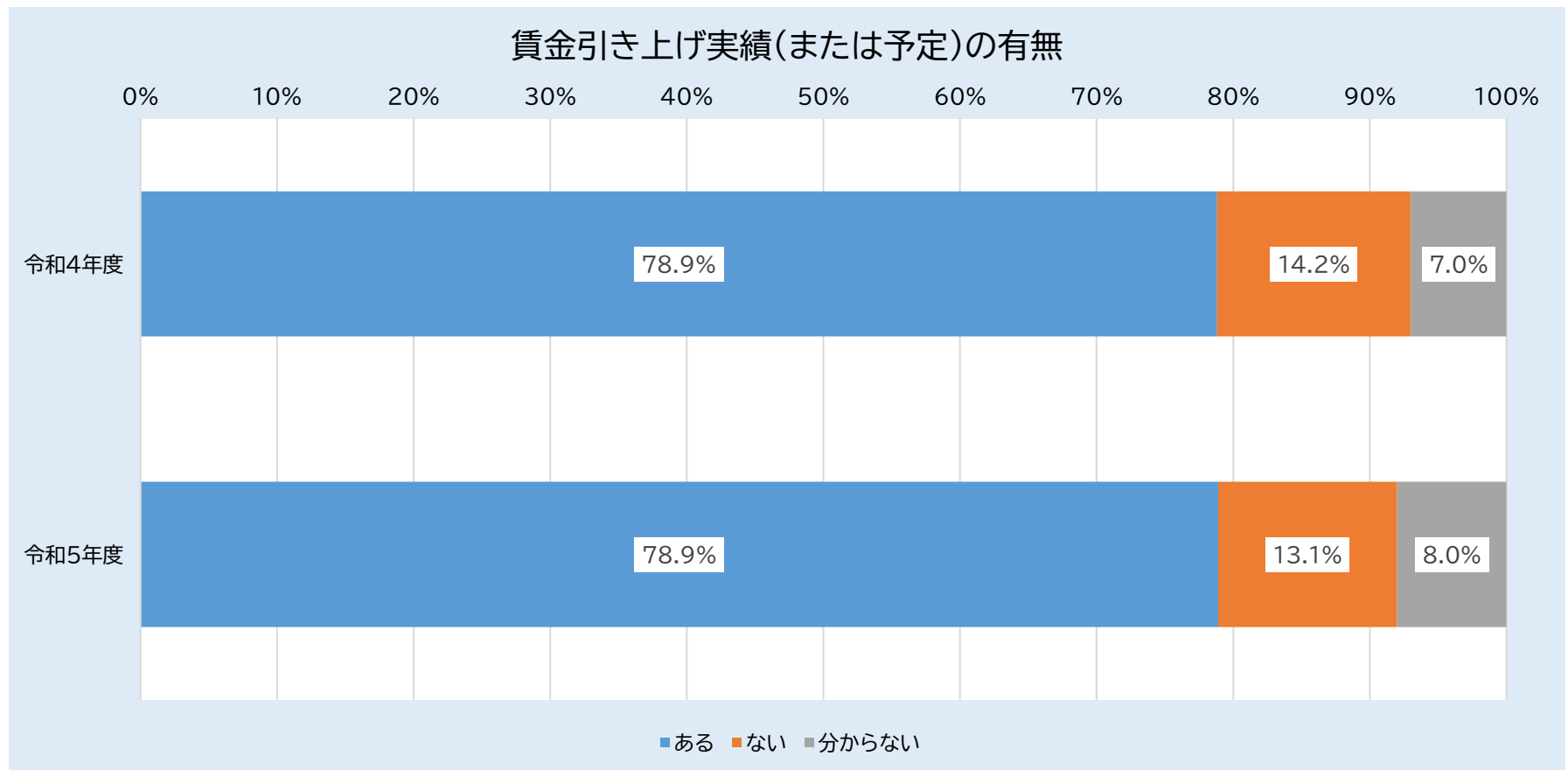
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げ実績(予定)の有無 (令和4年度との比較)

- 賃金引き上げの実績・予定について、令和4年度と令和5年度を比較したところ、「ある」の回答が約80%となった。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

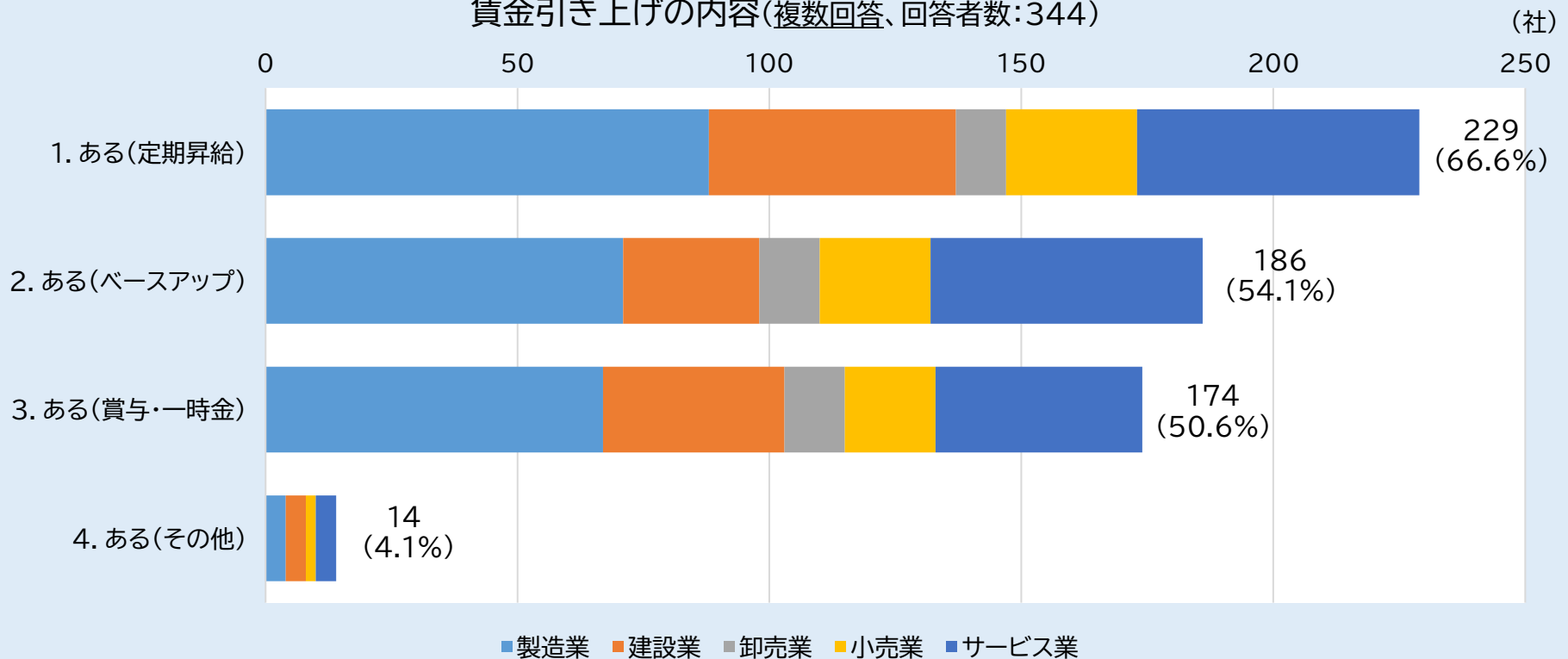
4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げの内容

- 今年度、賃金引き上げの実績・予定がある事業所を対象に、引き上げの内容を複数回答で尋ねたところ、「定期昇給」が最も多く、次いで「ベースアップ」、「賞与・一時金」の順に多かった。
- 「その他」の内容: 最低賃金改定に伴う引き上げ 等

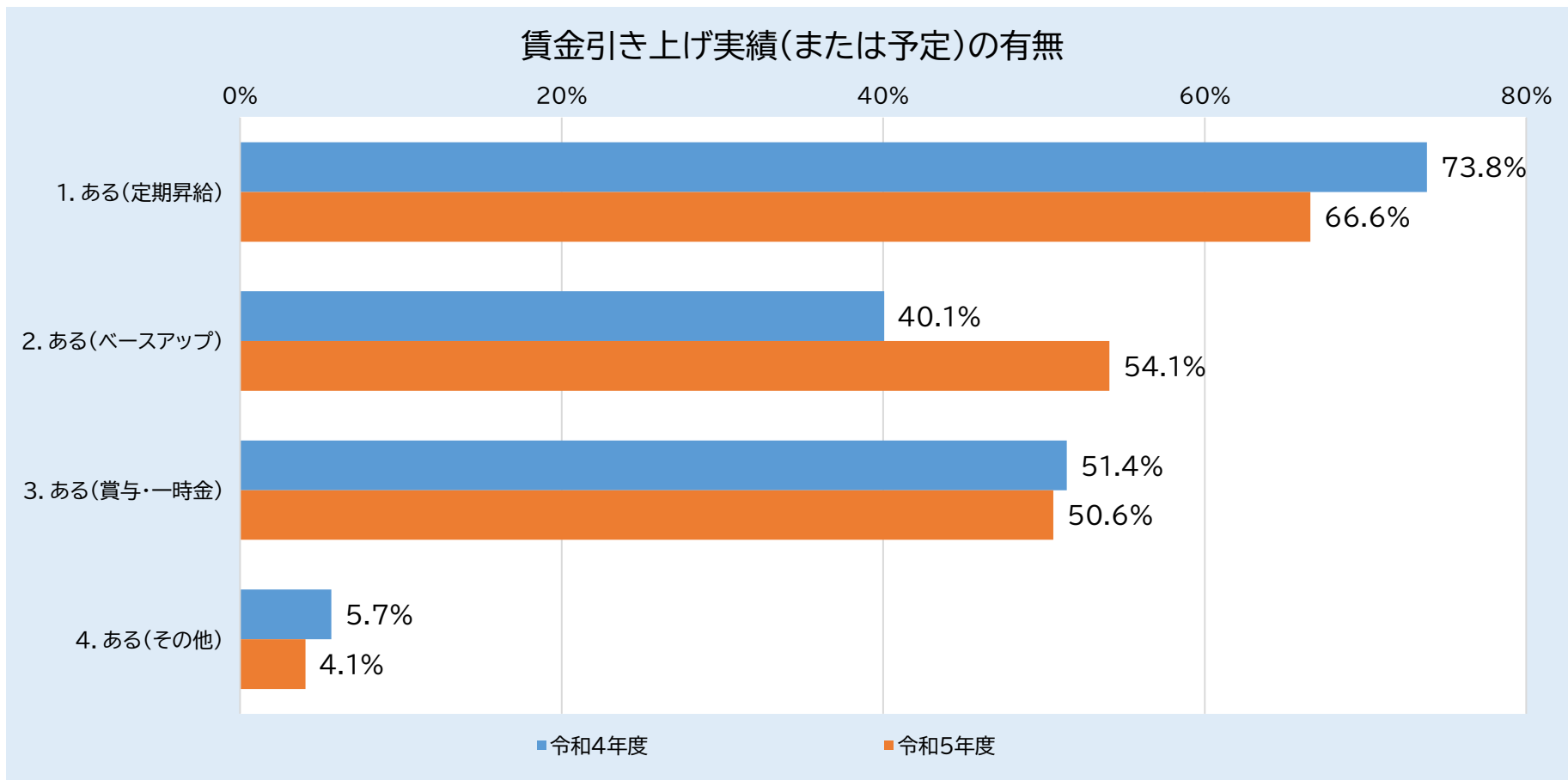
賃金引き上げの内容(複数回答、回答者数:344)



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

賃金引き上げの内容(令和4年度との比較)

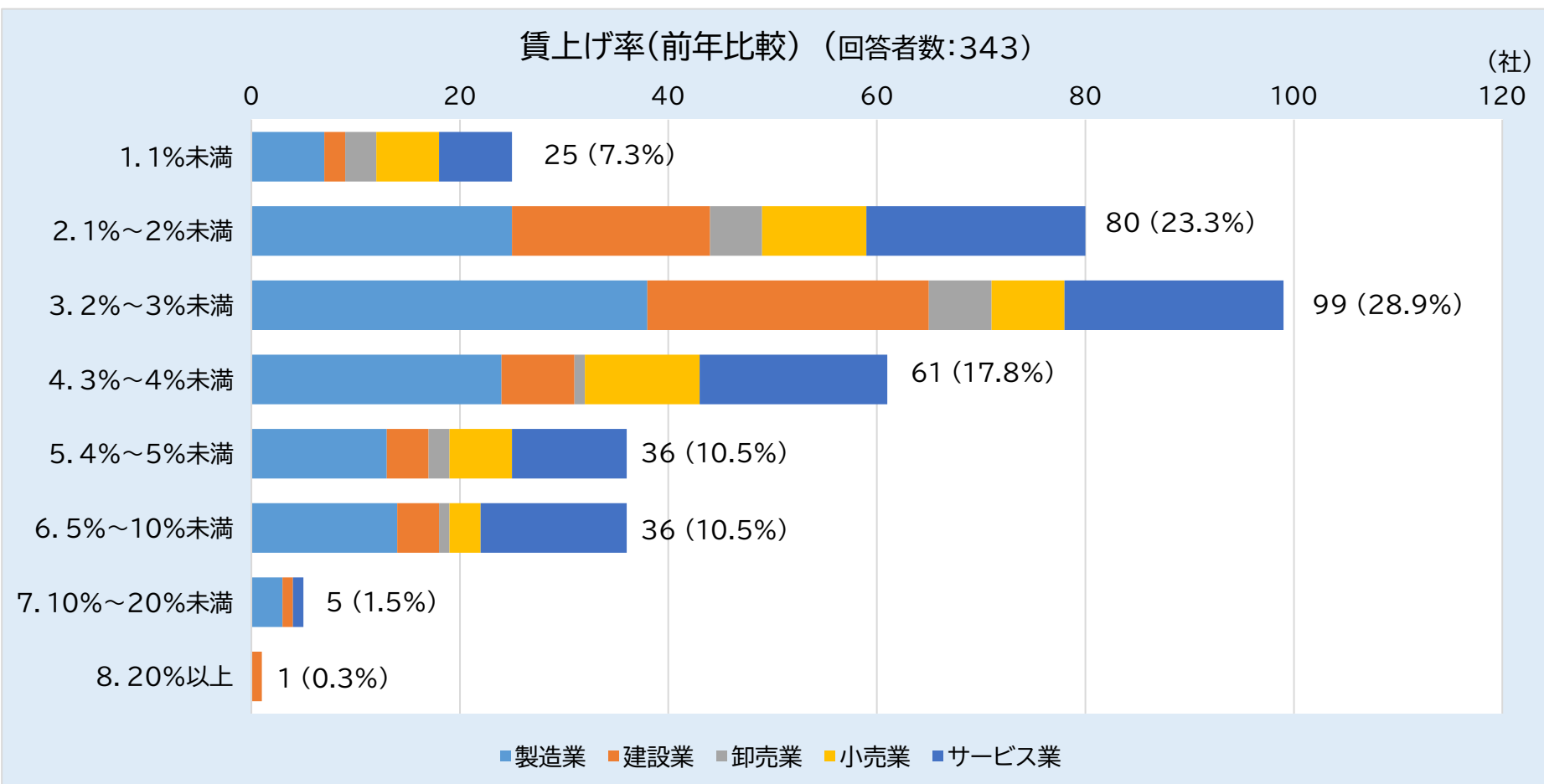
- 賃金引き上げの内容について、令和4年度と令和5年度を比較したところ、「ある(ベースアップ)」の割合が増加した。



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

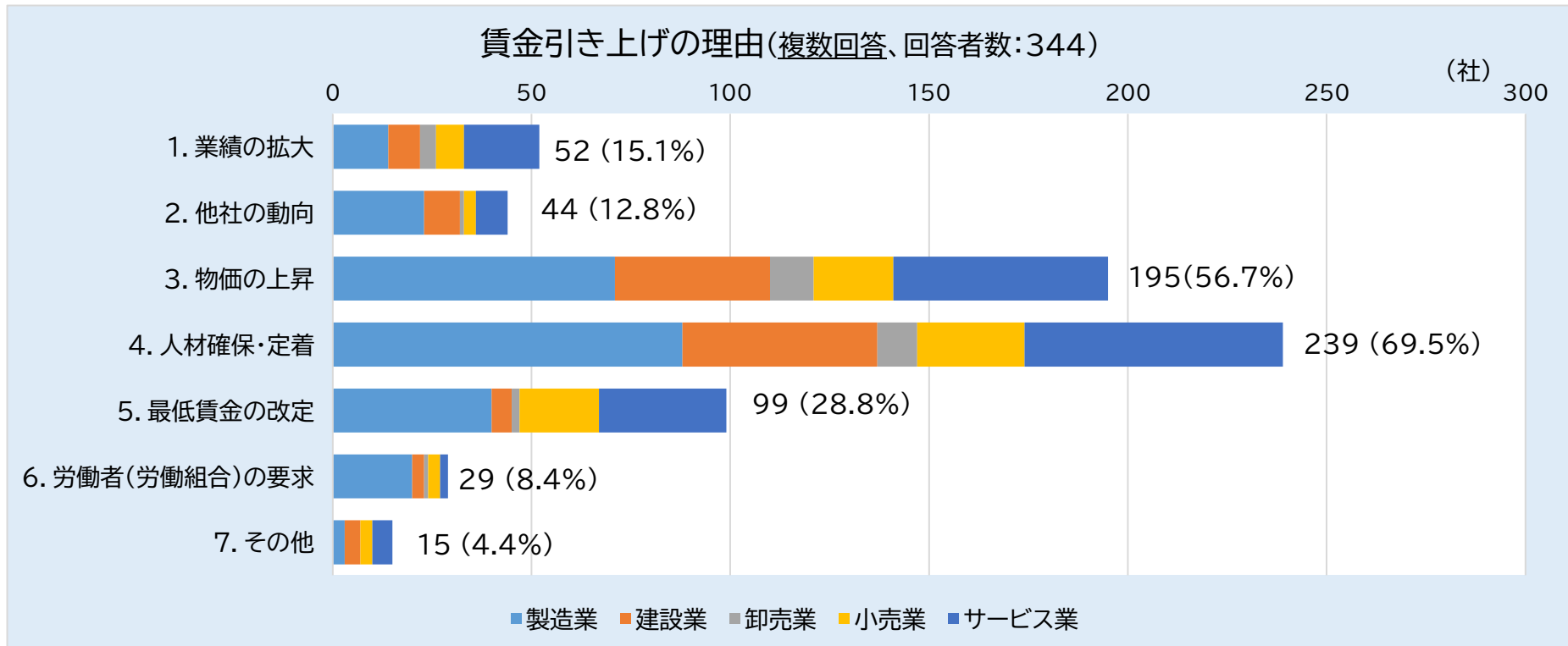
賃上げ率(前年比較)

- 賃上げ率(前年比較)を尋ねたところ、「2%～3%未満」が最も多く、「1%～2%未満」、「3%～4%未満」が続いた。



賃金引き上げの理由

- 賃金引き上げの理由を複数回答で尋ねたところ、「人材確保・定着」が最も多く、「物価の上昇」、「最低賃金の改定」が続いた。
- 「その他」の内容： 定期昇給、能力向上による 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

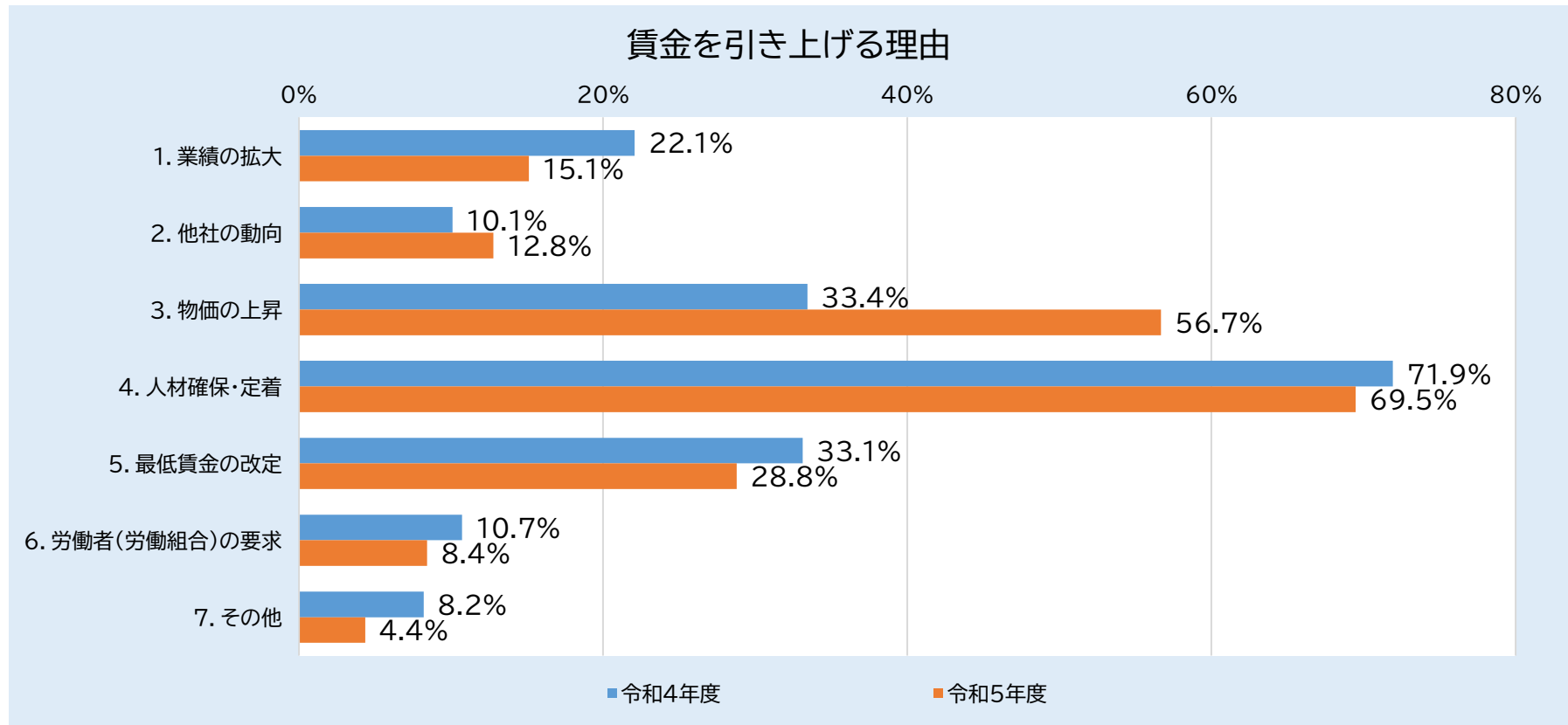
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げの理由(令和4年度との比較)

- 賃金引き上げの理由について、令和4年度と令和5年度を比較したところ、「物価の上昇」の割合が増加した。



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

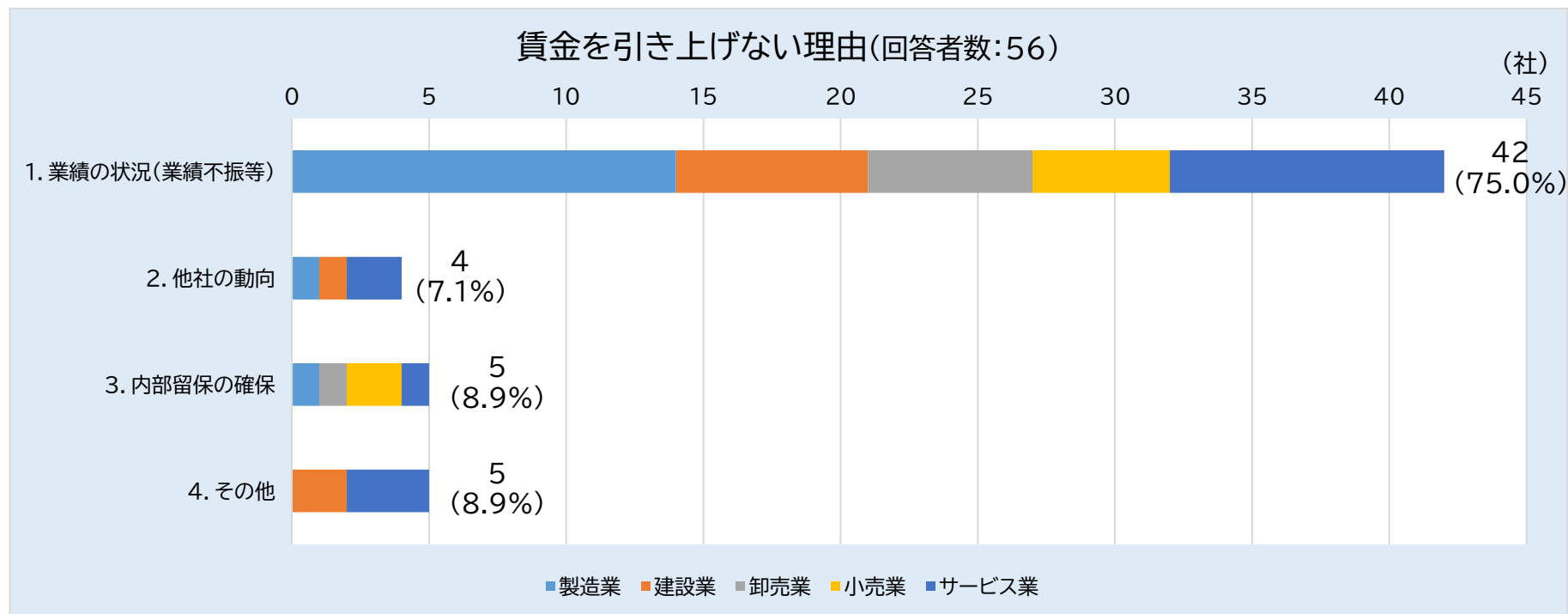
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金を引き上げない理由

- 今年度、賃金引き上げの実績・予定がない事業所を対象に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「業績の状況」が最も多かった。
- 「その他」の内容: 引き上げ後の維持が難しい、給与は売上に連動するため 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合

1. 調査概要

2. 全体

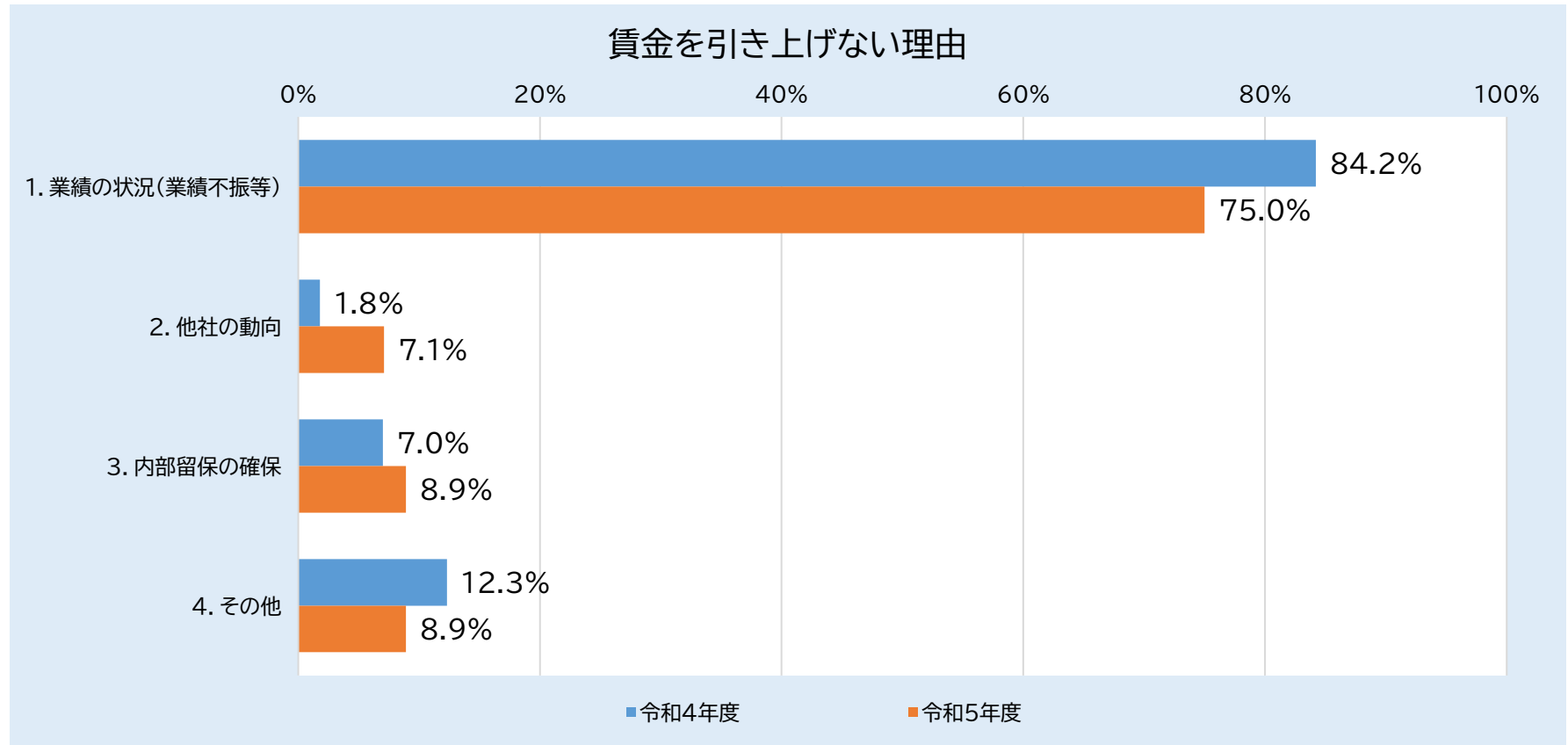
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金を引き上げない理由(令和4年度との比較)

- 賃金を引き上げない理由について、令和4年度と令和5年度を比較したところ、「業績の状況(業績不振等)」の割合は減少したものの、全体の75%を占めた。
- 一方、「他社の動向」「内部留保の確保」の割合が増加した。



1. 調査概要

2. 全体

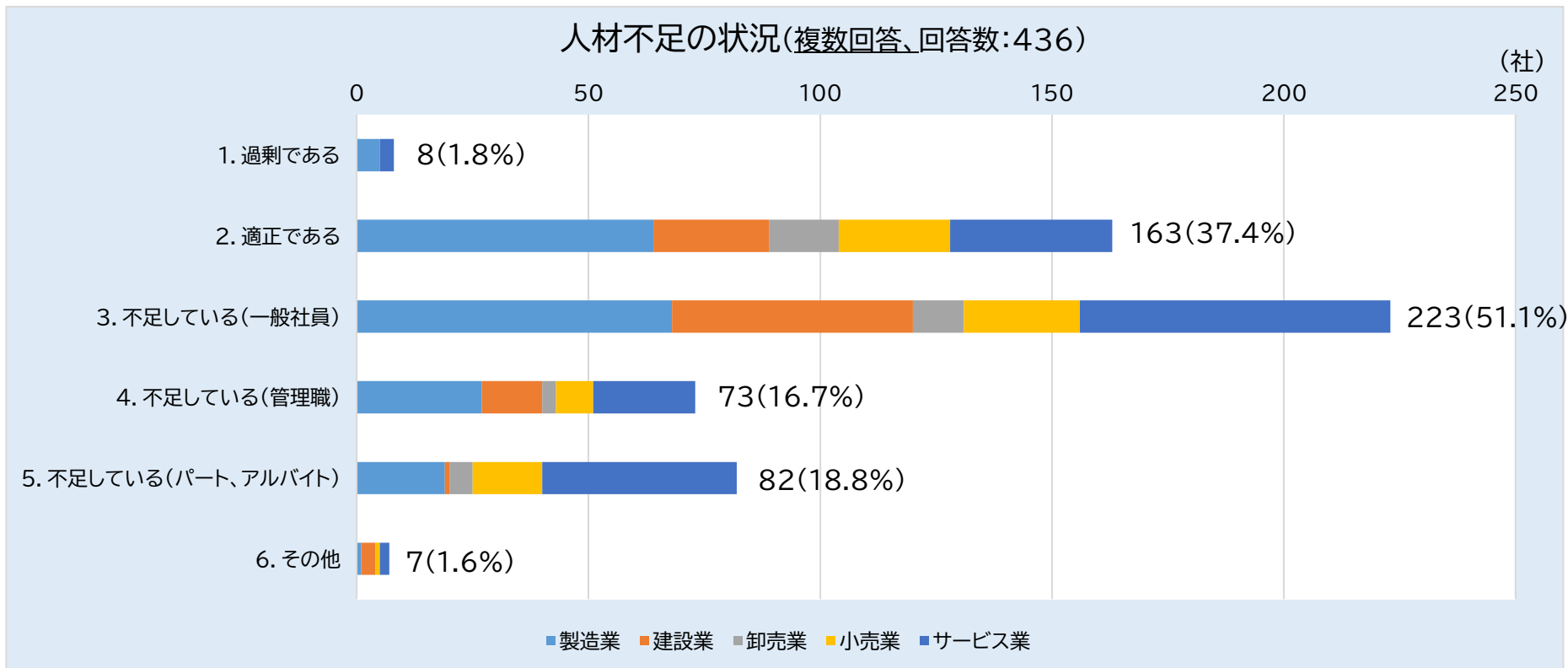
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

人材不足の状況について

- 人材不足の状況について尋ねたところ、「不足している(一般社員)」が最も多かった。
- 続いて「適正である」、「不足している(パート、アルバイト)」の順に多かった。



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

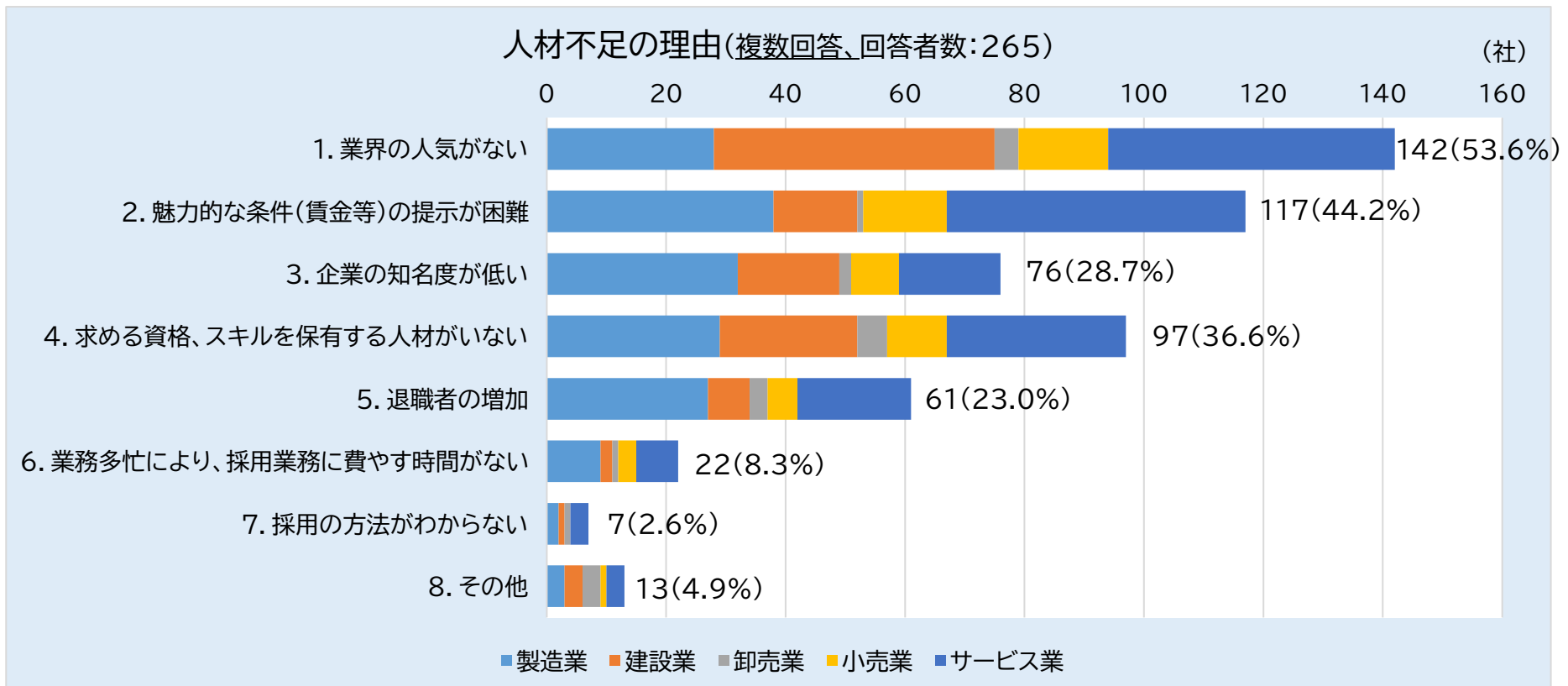
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

人材不足の理由について

- 人材不足の理由について尋ねたところ、「業界の人気がない」が最も多かった。
- 続いて「魅力的な条件(賃金等)の提示が困難」、「求める資格、スキルを保有する人材がない」の順に多かった。



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

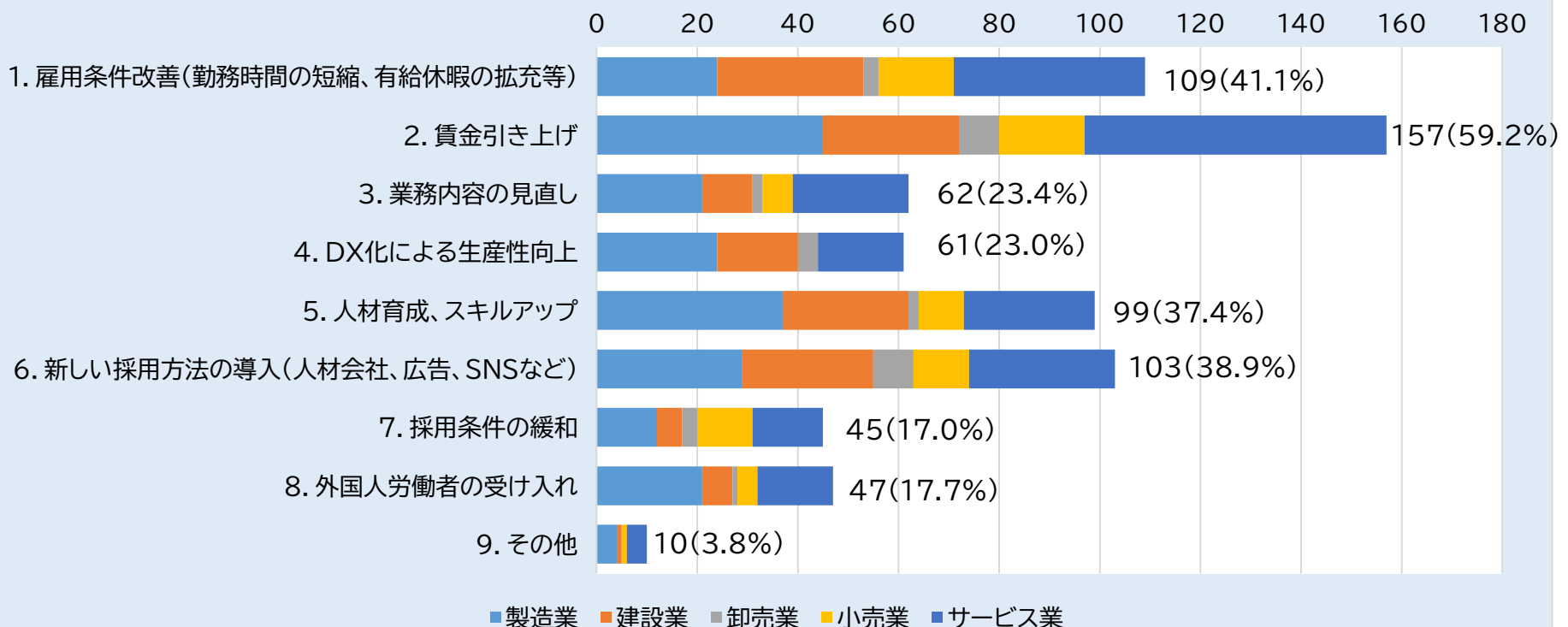
4. 業種別

5. 追加設問

人材不足解消のための対応策について

- 人材不足解消のための対応策について尋ねたところ、「賃金引き上げ」が最も多かった。
- 続いて「雇用条件改善(勤務時間の短縮、有給休暇の拡充等)」、「新しい採用方法の導入(人材会社、広告、SNSなど)」の順に多かった。

人材不足解消のための対応策(複数回答、回答者数:265)



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)